



363.5  
M494s



00672146



シコ42



經濟資料第七四編

支那ソウエート第二次全國大會記錄

東京都千代田区丸の内二丁目十二番館六号四二室

芳澤中國記念事業財團

電話(28)四一〇八番

南滿洲鐵道株式會社

經濟調查會



363.5  
M494A



672146

### 支那ソウエー卜第二次全國代表大會記錄 目次

第一日……(毛澤東の開會の辭、大會主席團の選舉、博古の祝賀演説、朱徳の祝賀演説、委員會の選出、議事日程の可決)……………一

第二日……(毛澤東の中央委員會工作報告)……………一

第三日……(毛澤東の工作報告續行)……………一九

第四日……(毛澤東報告に對する分組討議)……………二八

第五日……(毛澤東報告に對する討論、毛澤東の結語)……………三二

第六日……(朱徳の紅軍建設報告、朱徳報告に對する討論)……………五一

第七日……(朱徳報告に對する討論—朱徳の結語、林伯渠のソウエー卜經濟、建設報告、林伯渠報告に對する討論)……………五四

第八日……(林伯渠報告に對する討論、林伯渠の結語、吳亮平のソウエー卜建設報告、吳亮平報告に對する討論)……………五七

第九日……(吳亮平報告に對する討論、吳亮平の結語、劉少奇の労働組合運動概要報告)……………五九

第十日……(各地代表の提案上程、大會宣言の發表、中央執行委員會の改選)……………六七



## 例言

一、支那ソウエートの實相に就いては、國民黨の側から發表されるものと、中國共產黨乃至支那ソウエート政府から示顯されるものとの二者がある。前者は、主として國民黨の言論統制下のブルジョア新聞紙を通じて爲され、國內宣傳の意味を多分に包括するを以て、屢々歪曲した事實を傳へるか、或は全然これを抹殺して一般大衆の耳目から隔絶せしめやうと意圖して居る。殊に、第五次「圍剿」以來の諸經過に就いては、支那側諸新聞紙の報道に留意しつつあつても、尙ほその真相を把握し難いやうな状態である。それは即ち國民黨軍隊の勝利の報道は極大の活字を以て示されるが、その敗戦の記事は全然紙面に現はれないからである。後者に就いては、それが多分にプロバカンダの必要から誇張されて發表されること勿論で、その儘の現勢叙述とは受取り難いことは申すまでもない。随つて、その現情勢、赤白對立の現勢を知悉するは、極めて困難な事象に屬する。

二、本稿は、一九三四年一月末から二月始めに掛けて、支那ソウエート政府の所在地であつた江西省瑞金に於いて開催せられた第二次全國ソウエート代表大會の經過を、専ら中國共產黨關係の文献——それも屢々杜絶へ勝ちであるが——と斷片的な諸情報を綜合して纏めたものであり、固より完全正確なる記録とは稱し難いが、然し支那ソウエート政府の新動向を察知すべき資料となり得るであらう。殊に、この大會に於いて爲された毛澤東の報告の如きは、過去數年間に互るソウエート諸工作の自己批判でもあり、且つ又紅軍建設・經濟建設工作の如き提案並びに討論があり、興味深き示唆に富んでゐる。支那ソウエート政府並びに紅軍主力部隊は、七年間に互るその本據たりし江西



省を放棄して、一九三四年末には貴州・四川省境地方へ西遷したが、それが蒋介石軍の討伐に依る敗退に非ずして、戦略的西遷であることは識者の等しく認むるところであり、その將來は、噂さるゝコミンテルン・ルートへの彼等の努力と共に支那問題の重要な部門をなすものである。

三、本編は、調査員大塚令三の執筆になる。

昭和十年三月十四日

## 經濟調査會第六部

# 支那ソヴェート第二次全國大會記錄

第一日（二月二十二日）

毛澤東の開會の辭——大會主席團の選舉——博古の祝賀演説

——朱徳の祝賀演説——委員會の選出——議事日程の可決

大會の開會に先つて、二十二日午前五時から中央政府運動場に於いて紅軍閱兵式があり、紅軍大學・紅軍第一歩兵學校・紅軍第二歩兵學校・紅軍專科學校及び中央警衛連が参加し、同八時終了した。次いで、赤色體育委員會主催の慶祝運動會が開かれ、夜は大會列席代表を加へた盛大なる提燈行列が舉行され、又勞農劇社は夜會を催したと言ふ。午後二時「赤都」瑞金に於いて三發の砲聲を合圖として支那ソヴェート政府第二次全國代表大會が開會された。この歴史的な大會會場に充てられた支那ソヴェート中央政府の大禮堂の四周には、紅白綠黃とりの賀旗が掲げられ、スローガンを記して傳單は、ピオネールの手に依つて瑞金市街の隨所に撒布された。大禮堂の階上階下を埋める傍聴者は千五百餘名で、立錐の餘地もない程の盛會であつた。

大會出席者は、正式代表六九三名、候補代表八三名で、その内譯は次の如くである。正式代表は江西一九六名、福建七九名、粵贛六三名、閩贛三七名、紅軍一一七名、地方武裝軍一三名、湘贛四三名、閩湘贛四三名、湘鄂贛三〇名、鄂豫皖一名、四川一名、非ソヴェート區域一七名、小數民族三名（滿洲人民革命軍代表・朝鮮代表・臺灣代表）、中央政府四八名で、候補代表は江西二六名、福建八名、粵日一二名、紅軍二八名、地方武裝軍九名である。



ソヴェート中央政府主席毛澤東は、會場を揺り動かすばかりの拍手の浪潮に迎へられて登壇、軍樂隊に依つてインターナショナルの歌が奏てられ、奏樂の終るを俟つて開會の辭を宣した。

毛澤東（支那ソヴェート政府主席）

同志諸君！余は中央執行委員會を代表して第二次全國ソヴェート代表大會の開會を宣佈する。本日は第二次全國勞農兵ソヴェート大會開會の日である。余は中央執行委員會を代表して全體代表諸君に敬意を表する。

同志諸君！第一次全國ソヴェート代表大會以來、既に二年二箇月を経た。この二年來全國に瀾漫發展した事變は、悉く反革命統治階級が更にその動搖と崩潰の度を進め、反對にソヴェート運動と全國革命闘争とが大々的に發展しつゝあることを明示し、證明してゐる。

支那は帝國主義の爲に壓迫され侵略された國家であり、又地主資産階級國民黨政府の屠殺・壓迫・奴隸を受けつゝある國家である。廣大なる領土は國民黨によつて帝國主義へ捧げられ、その結果支那全國は帝國主義の分割共同管理の威脅を蒙り、今や滅亡に瀕するに至つた。斯かる情勢下に於いて、支那の勞農勤勞大衆は中國共產黨の指導を受け、團結し武裝して自らの國家と政府とを創造した。我々は既に第一次全國ソヴェート代表大會に於いて右國家の成立を宣告したが、これは即ち我等の支那ソヴェート共和國である。爾來全支那は二箇の政權の極端なる尖銳的對立を示すに到つた。

二年來の革命發展は、全國の革命形勢をして更に進展せしめた。廣汎なる勞農大衆はソヴェートの旗幟の下に團結し、我等の敵たる帝國主義國民黨は我等の勝利の前に戰慄し、彼等は繼續三度に互る「圍剿」後、更に第四次第五次の「圍剿」を行つた。但し我等は敵の四度に及ぶ「圍剿」を擊破し、今や第五次「圍剿」を粉碎中であり、既に

その初歩的勝利を獲得した。現在我等は第五次「圍剿」に對し最後の決戦を行ひつゝあり、最も重大肝要なる時期に處して居る。

二年來全國紅軍はその血腥き闘争中に於いて偉大なる勝利を獲得したが、この間に於いて數多同志は、ソヴェートの爲に最後の一滴の血潮を捧げ、榮光に輝く犠牲となつた。又數多の同志は國民黨區域に於いて、或はその他白色區域に於いて、革命闘争を指導しつゝ國民黨の爲に屠殺された。これらの同志中には黃公略・趙博生・章拔群・譚代英・蔡和森・鄧中夏・魯易・沈澤民・王良・胡阿林・張錫龍・吳高群・彭鰲等々があり、前線に於いて又各方面の戰線に於いて、敵の銃彈の爲に或は双の爲に光榮ある犠牲となつた。余は茲に之等の同志の爲に三分間の黙禱を行ひ、哀悼と敬仰の意を表することを提議する（全代表は起立して三分間黙禱した）。

第二次全國ソヴェート代表大會の任務は、徹底的に敵の第五次「圍剿」を粉碎することであり、ソヴェート運動を全國に波動することであり、又帝國主義國民黨の支那滅亡の陰謀毒計に反對することである。大會は重大なる專任を擔つて居る。大會は全ソヴェート區・全支那の勞農勤勞大衆に號召し、百萬の紅軍を擴大する闘争を行はねばならぬ。又全ソヴェート區・全支那の大衆に呼びかけて彼等を武裝せしめ、全力量を集中して第五次「圍剿」を粉碎し、以て革命戦争の最大にして徹底的なる勝利を爭取し、革命の全支那に於ける勝利を爭取せねばならぬ。大會は全國最高の政權機關である。それは、これらの問題を解決すべき極大なる力量を有するものである。我々は大會が必ずやこれらの問題を解決し、これらの問題を解決することに對する完全なる把握を有することを信ずる。

大會は第五次「圍剿」を徹底的に粉碎し、革命を全國に發展せしめ、ソヴェートの版圖を一切國民黨統治の地方



にまで擴大し、赤旗を全國に翻翻たらしめ得るであらう。

我等に斯く高唱せしめよ。

第二次全國ソヴェート代表大會萬歲！

ソヴェート新支那萬歲！

毛澤東の開會の辭に次いで、大會主席團の選舉が行はれ、次の七十五名が選出された。

江西代表……毛澤東 博古 項英 吳亮平 劉少奇 何克全

周月林 金維映 劉啓耀 鐘昌桃 蔡暢 曾山

謝培蘭 劉泉興 王月英 鐘循仁 巫了元 黃宜章

福建代表……張聞天 鄧發 王盛榮 范樂春 巫了元 黃宜章

陳雲 劉群仙 劉國珠 傅才秀 周義開 鐘世斌

粵贛代表……羅邁 劉群仙 劉國珠 傅才秀 周義開 鐘世斌

紅軍代表……朱德 周恩來 王稼蓄 何長工 滕代遠 宋任窮

瑞金代表……董必武 楊世珠 高自立 徐特立 梁柏臺 朱地元

張振山 劉張洪 馮文彬 何長工 滕代遠 宋任窮

閩贛代表……顧作霖 胡德蘭 祝維垣

閩浙贛代表……汪金祥 張冬秀 徐立成 王震

湘鄂贛代表……黃光祿 張云仙 張金樓 王震

湘贛代表……譚采保

吉安代表……王瑞章

鄂豫皖代表……成仿吾

鄂豫邊代表……張星

上海代表……朱琪

滿洲代表……何德

陝西代表……賈元

河南代表……王華

東江代表……徐威

香港代表……伍申

廈門代表……王會

四川代表……繆坤

山東代表……汪生

朝鮮代表……畢士狄

爪哇代表……張然和



臺灣代表……蔡 乾  
安南代表……洪 水  
兵工廠代表……陸 宗 昌

大會主席團の選出後、中國共產黨中央委員會を代表して、博古の大會開催祝賀演説が行はれた。

博 古（中國共產黨代表）

親愛なる同志諸君！ 余は中國共產黨中央委員會を代表して、第二次全國ソヴェート代表大會に對し、無産階級先鋒隊たる共產主義者の敬意を表する。

本日第二次全國ソヴェート代表大會は開會された。こゝには全國ソヴェート區域各地の代表が居られ、國民黨統治區域の労働者及び農民の代表が居られ、滿洲に於いて日本帝國主義と慘酷なる民族革命戦争を行ひつゝある人民革命軍の代表が居られる。これは全支那の廣汎なる勞農大衆が、何れも只ソヴェートのみが支那民衆を解放する唯一の道であり、又只ソヴェートの旗幟のみが、全國勞農勤勞大衆を團結せしめ得ることを明白に認識して居ることを證明するものである。

單にこれに止まらず、本大會中には、尙日本帝國主義の統制下に在る朝鮮・臺灣の各代表、更に佛蘭西帝國主義の搾取下に在る安南代表及び英國帝國主義の壓迫下に在る爪哇代表が出席されて居る。これは又、ソヴェート運動が、單に支那の廣汎なる勞農勤勞大衆にとり、唯一の解放の道であるのみでなく、同時に東方植民地の一切被壓迫民族にとつても、同様に解放の道であることを證明するものである。

同時に、同志諸君！ 本大會の面前には更にソヴェートのみが支那革命の指導であり、只ソヴェートのみが

全國民衆を指導して民族革命戦争を進行せしめ、日本及び一切帝國主義の侵略に反對し得るものであることが證明されて居る。一切の改良主義者共の欺瞞は、我等の二年來の勇敢なる闘争によつて完全に粉碎された。何が人民だ、何が革命だ、彼等は人民的でも革命的でもない。

余は思惟する、今次の大會は帝國主義國民黨の第五次「圍剿」粉碎なる戰闘的スローガンの下に議事を進行せしめ、又大會は敵の第五次「圍剿」を粉碎して、ソヴェート全支那の勝利を闘ひ取ることを以て、我等の主要なる議程としなければならぬと。余は思惟する、今次大會は二年來のソヴェート運動の經驗を清算し、一切の經驗と教訓とを集中して、今後のソヴェート運動を更に有力に展開進行せしむべきであると。又余は思惟する、今次大會は民族革命戦争を發展して、一切帝國主義を支那より驅逐すべしとのスローガンを以て、全支那の民族革命戦争を波及し指導し、以て徹底的に支那の自由獨立と統一とを闘ひ取る爲に闘争せしむべきであると。

余は今次大會に出席の代表諸君は、必ずや中國共產黨の提出せるスローガンの周圍に團結し、黨の全スローガン實現の爲に闘争し得ることを信ずる。余は本大會以後、我等は徹底的に帝國主義國民黨の第五次「圍剿」を粉碎することを得、我等のソヴェート區域は極めて大々的に發展擴大され、我等は赤旗を支那全土に翻へし、又我等は上海に武昌に我等の第三次全國ソヴェート大會を開催し得るであらうことを信ずるものである。最後に我等は高唱しやう。

支那ソヴェート萬歲！

中國共產黨萬歲！

第二次全國ソヴェート代表大會萬歲！



博古の祝賀演説に次いで、中華全國總工會を代表して劉少奇、中國共產主義青年同盟を代表して凱豐の祝賀演説があり、次いで全國紅軍總司令朱德が登壇した。

朱 德 (紅軍總司令)

余は勞農紅軍、前線の後方の及び敵人の戦闘中の赤色戦士を代表し、大會全體代表に對し、敵人の第五次「圍剿」粉砕に敬禮を行ふものである。

支那の勞農紅軍は中國共產黨の指導下に在り、ソヴェート中央政府の指揮下に在る。第一次全國ソヴェート代表大會の紅軍決議の指示の下に、この二年來我等は鐵の隊伍を組織し、擴大し、鞏固にし、支那勞農階級の比類なき鐵拳となつた。如何なる敵も皆我等の勇敢なる紅軍の實力の下に惨敗を喫してゐる。我等の勞農紅軍は帝國主義國民黨の四次に互る「圍剿」を粉砕し、特に第四次「圍剿」の際には全國各方面に涉つて偉大なる勝利を獲得し、敵の銃三萬及び無數の新式武器を奪取し、紅軍を大規模な鐵軍に練り上げた。國民黨の所有する新式武器の類は、我等は凡て持つて居る。我等が國民黨の掌中より武器を奪取し、國民黨の第四次「圍剿」を粉砕した爲、彼等には繼續して我等は進攻する力を失ひ、已むを得ず帝國主義に向つて更に一步投降し、帝國主義に金錢武器の幫助を求め、ソヴェート區域勞農紅軍に對し絶望的第五次「圍剿」を爲しつゝある。

最近我等の勇敢なる紅軍は、帝國主義國民黨の第五次「圍剿」の大半を粉砕し、敵に莫大な打撃を與へ、彼等のソヴェート侵入を阻止したが、我等は又帝國主義國民黨の第五次「圍剿」を完全に粉砕出来る自信を持つて居る。この間に於いて我等は百萬の紅軍を創造し、この百萬の紅軍を鐵の紅軍に訓練し、今年中に帝國主義國民黨と生死の決議を敢行しなければならぬ。我等の勇敢なる赤色戦士には犠牲の決心があり、又勝利の確信がある。我

等は一切の準備を爲し、ソヴェートの勝利を實現し、帝國主義國民黨の血腥き統治を打倒し、我等のソヴェート政府を南京・北平・武漢・上海等の中心都市に移し、全國勞農勤勞大衆を解放し、支那民族の解放を闘ひ取らう。廣汎なる勞農勤勞大衆の熱烈な擁護、中國共產黨・支那ソヴェート中央政府の指導下に、赤色戦士全體は絶対に勝利の把握を有するものである。このことを、余は全體戦士を代表して大會に報告する。我等は大會の勝利の成功を敬祝し、竝に大會が百萬の鐵の紅軍創造の任務を完成し、ソヴェート全支那の勝利を爭取せむことを希望する。

第二次全國ソヴェート代表大會萬歲

中國共產黨萬歲

支那ソヴェート中央政府萬歲

勞農紅軍萬歲

全支那勞農兵解放萬歲(大拍手)

博古・劉少奇・凱豐及び朱德の四代表の演説後、大會主席團は (一)代表資格審査委員會 (二)中央執行委員會工作報告決議委員會 (三)紅軍建設に關する決議委員會 (四)經濟建設決議委員會 (五)ソヴェート建設決議委員會 (六)法令委員會の選出を行ひ、次いで大會祕書長として梁柏臺を選出した。更に引續いて左の議事日程を可決した。

- 一、中央執行委員會二年來の工作報告 報告者 毛 澤 東
- 二、紅軍建設に關する決議報告 同 朱 德



三、經濟建設決議報告 報告者 林 伯 渠  
 四、ソヴェート建設決議報告 同 吳 亮 平

五、憲法及び各種法令の更改

六、中央執行委員會の改選

以上を以て、大會第一日の豫定議事を終了したが、下列の如き緊急動議の提案があり、何れも可決通過した。

- 一、張聞天（大會の名儀を以て前線赤色戦士を電報慰問するの件）
  - 二、吳亮平（ソヴェート聯邦の労働者・農民・紅軍戦士に通電して、彼我の兄弟的友愛を表示するの件）
  - 三、博 古（スターリン・カリーニン・モロトフ・テールマン・長岡を選出して大會の名譽主席團と爲すの件）
  - 四、劉少奇（大會名儀を以て東北義勇軍を電報にて慰問するの件）
  - 五、何克全（大會名儀を以て國民黨獄中に在る革命戦士を電報にて慰問するの件）
  - 六、康克清（大衆慰勞大會の慰問品の一部を以て各醫院・廢疾院等にある傷病戦士を慰問するの件）
- 前掲緊急提案に次いで、大會秘書長から賀電（西北勞農紅軍・抗日義勇軍全體指揮員及び赤色戦士、粵贛軍區全體指揮戰闘員）の披露があつて、猛烈なる拍手裡に第一日の會議を終了した。

## 第二日（二月二十四日）

### 毛澤東の支那ソヴェート政府中央執行委員會の過去二年來の 工作報告演説

大會第二日は、二十四日午後から開會された。前々日、可決された議事日程に基いて、支那ソヴェート中央政府主席毛澤東の支那ソヴェート共和國中央執行委員會及び人民委員會の第二次全國ソヴェート代表大會に對する報告演説が行はれた。毛澤東のこの報告は、支那と世界との革命發展の情勢を指出して、一九三一年十一月七日中央政府成立以來、ソヴェート運動の各方面に於いて得たる貴重なる經驗に對する總決算を行ひ、最後に當面の具體的戰闘任務を提出して居り、今次大會の最重要報告である。

毛澤東は、先づ當面の政治情勢とソヴェート運動の發展を述べ、次いで帝國主義の進攻とソヴェート中央政府の反帝運動に對する指導、帝國主義國民黨の「圍剿」とソヴェート中央政府の「圍剿」反攻運動を詳述したる後、兩年來のソヴェート中央政府の各種基本政策の施設に論及した。右は先づソヴェートの過去及び現在の情勢を説き、労働政策・土地革命・財政政策・經濟政策・文化建設・婚姻制度及び民族政策に及んだ。

#### 毛澤東

ソヴェートの各種基本政策を語る前に、先づこれら基本政策の出發點は何であるかを明瞭にする必要があるがそれが爲にはソヴェートの過去及び現在の環境、竝に斯かる環境から産み出された任務について、はつきりと説明する必要がある。



過去のソヴェートは遊撃戦争中に幾多の極小地方から生長したものである。これらの地方は獨立して相互の聯絡を有しなかつた爲、あらゆるソヴェート區の四圍は何れも敵の世界であり、敵は常に慘虐な侵攻と壓迫とを行つた。併しそれにも拘らず、ソヴェート區はこれらの敵に打勝つて、その壓迫の中に現在の成長を示した。

今やソヴェート區は往時とその面影を異にした。現在ソヴェート區には廣大なる領土と廣汎な大衆とがあり、又強力な紅軍がある。それは已に多くの散漫的な力量を集中して(未だ完全には集中されて居らぬか)一國家を組織した。即ち我等の支那ソヴェート共和國である。この國家は已にその地方及び中央的組織を有し、臨時中央政府を建立して居る。この政府は一個の集中的權力機關であつて、廣汎な民衆を主體とし、民衆の武装力量——紅軍に依據して居る。この政府は労働者・農民の政府であり、それは労働者と農民との革命民主專政を實行し、労働者・農民に對しては廣汎なデモクラシーであるが、但し如何なる地主資産階級分子の参加をも絶對容認しない。それは一個の專政、而も既に極めて大なる權力を有する專政である。この專政は已に全國に對してその影響を擴大し廣汎な民衆中に偉大な信仰を有して居る。それは過去の遊撃戦争時代とは大いにその面影を變化したが、而も戦争は依然として經常的生活であり、且そのみか益々擴大・激化して居る。それはこの專政と國民黨地主資産階級の專政とが日に増して尖鋭化し、現在已に勝敗を一氣に決定すべき時期に到達して居ることを示すもので、帝國主義國民黨は大規模な「圍剿」を以てソヴェートに迫つて居る。

上述の如き環境はソヴェートの任務を決定した。即ちソヴェートは全力を擧げて民衆を動員し、組織し、武装しなければならぬ。又一日も停止することなく敵に對する攻撃を続け、敵の「圍剿」を粉碎しなければならぬ。ソヴェートの任務は革命戦争であり、一切の力量を集中して革命戦争を展開し、これを以て敵の專政を打倒するこ

とであり、且つ強力な帝國主義統治を打倒することである。何故ならば、帝國主義は敵の專政を擁護し指揮するものであるから。ソヴェートが帝國主義と國民黨とを打倒せむとする目的は、支那を統一して資産階級性的民主革命を實現せむが爲で、この革命は將來社會主義的革命へと變轉されるものである。

以上により、ソヴェートが斯かる環境の下に各種基本政策を施行せむとしつゝあるのは、何の爲であるか、明白となるであらう。已に勝取つた民主專政を鞏固とする爲に、この專政を全國に波動する爲に、又全ソヴェート區全支那の勞農勞苦大衆を動員し、組織し、武装し、強力な革命戦争を以て帝國主義と國民黨の統治を打倒し、以てこの專政を鞏固とする爲に、且つ現在の資産階級性的勞農民主專政から將來の社會主義的無産階級專政への變轉を行ふ爲に、ソヴェートは各種基本政策を施行しなければならぬ。これがソヴェート一切政策の出發點である。

中央執行委員會と人民委員會とは、第一次全國ソヴェート代表大會の指示を承け、二年來この種政策の總方針を確く守り、偉大なる成績を擧げた。而して已に實地經驗に依て支那全體の革命民衆に次の如く證明したのである。即ちソヴェート政府の政策こそ、始めて民衆政權と民衆利益との政策であり、帝國主義國民黨の反革命政策と堅く對抗するものであり、帝國主義國民黨の全國に於ける統治を打倒し、全民衆を危亡より救ひ、全體勞働民衆を水火の苦中より救ふ唯一の政策であると。

謂ふまでもなく、二個の政權の尖鋭なる對立を示す支那に於いては、ソヴェートとのあらゆる具體的施政は、直に廣汎なる民衆の擁護を受ける。帝國主義國民黨の反革命政策下にあらゆる壓迫と搾取を受けた大衆は、ソヴェートのあらゆる具體的施政に對し、恰も磁石に吸ひつく鐵屑の如くこれを歓迎してゐる。斯かる狀況は、反動統



治階級の絶大なる恐怖を呼んだ。これが爲、反動統治階級は恥氣もなく一切の謠言を造り、ソヴェートの施政を誣ひて居る。併し鐵の事實は、この無恥なる謠言に對し有力なる回答を與へた。具眼の支那人ならば、若し彼が喪心病狂の國民黨地主資本家でない限り、ソヴェート政府と國民黨政府との政策が、如何に大なる差異あるかを認めざるを得ないのである。

支那のソヴェートと紅軍とは、土地革命中から生長し、發展したものである。地主階級と國民黨軍閥との慘酷な壓迫と搾取の下に在る廣汎なる農民大衆を解放するものは、土地革命を置いて外にない。ソヴェート土地政策の原則は、地主階級と國民黨軍閥との一切封建及び半封建的搾取と壓迫とを完全に打倒することである。

過去及び現在に至る一切國民黨の區域に於ける農村には、驚くべき地租(百分の六〇乃至八〇)、高利貸(百分の三〇乃至一〇〇)、苛捐雜稅(全國計一千七百餘種の多きに達する)等が存在して居るのであつて、その結果、土地は地主階級と富農とに集中され、絶對多數を占むる農民はこれを失ひ、生死も儘ならぬ状態である。土地上に於ける無情なる掠奪は、農民から天災饑饉に對する防禦能力を奪ひ、爲に水災旱災は全國的な現象となつた。一九三一年度の災區は八百九縣に達し、罹災人口は四千四百餘萬人に及んだ。絶へ間なき掠奪は農民から生産能力を奪ひ、幾多の肥田は變じて瘠地となり、又殆んど荒地と化した。同時に農民の有する極めて僅少な生産品は、帝國主義農産品のダンピングの爲に壓倒された。これらの諸因素は、支那農村經濟をして全く破産状態に陥らしめたのである。農村中の土地革命の烽火は、斯かる基礎の下に有力に燃え上つた。

ソヴェート土地革命の威力は一切の封建的殘餘勢力を掃蕩し、千百萬農民大衆は長期に互る暗黒から目覺め、地主階級の全土地財産を奪取し、富農の肥田を沒收し、高利貸を排除し、苛捐雜稅を廢止し、一切の革命的敵を

打倒して、自己の政權を建立し、始めて主人公の資格を取得した。これはソヴェート政權下と國民黨政權下に於ける農村状態の根本的區別である。

第一次全國ソヴェート代表大會は土地法を頒布して、全國土地問題の解決に關し正確なる依據を與へた。農村中の階級闘争の尖鋭化は、階級分析問題上に幾多の争論を發生した。人民委員會は過去に於ける土地闘争の經驗に基き「土地闘争中の若干問題に關する決定」を作成し、地主・富農・中農・貧農・遊民等の幾多問題に對し正確なる解決を與へ、農村闘争は更に有力なる發展を來した。土地分配上の數多問題、例へば距離・肥瘠・青黄・山林・池塘等々に關しては、速やかに各地の經驗を蒐集して、これを決定の要素とした。これは新ソヴェート區の土地分配を指導する上に極めて必要なことである。

徹底的に封建殘餘勢力を消滅し、土地革命の結晶を完全に雇農・貧農・中農の手中に歸せしむるため、中央政府は廣範圍に涉り、深刻なる査田運動を開始した。一九三三年七、八、九三箇月間の統計に依れば、中央ソヴェート區、江西、福建粵贛三省に於いては、總計六、九八八家の地主、六、六三八家の富農を査出し、これらの地主・富農の手中から、三十一萬七千五百三十九擔の土地を回收し、地主の現金及び富農の獻納金計六十萬六千九百十六元を沒收した。農民大衆の革命積極性は更に發揚され、雇農労働組合と貧農團とは農村に於けるソヴェートの柱石となつた。三箇月間に斯の如き好成绩を獲得した事實は、農村階級闘争が目下のところ尙ほソヴェートの充分なる注意を必要とすることを物語るもので、又査田運動を今後繼續することは農村闘争を發展し徹底的に封建殘餘勢力を消滅する有力なる方法であることが、完全に證明されたのである。

土地闘争に於ける階級的方法は、雇農・貧農に依據して中農を聯合し、富農を剝削し、地主を消滅することで



ある。この一方針を正確に運用することは、土地闘争の勝利と発展とを保證する鍵であり、ソヴェートがあらゆる農村に對する具體政策の基礎である。故にソヴェート政府は、中農(主として富裕なる中農)の利益を侵犯し、又は富農を消滅せむとするが如き誤まれる傾向に對し、嚴重なる制裁を與へると共に、同時に地主・富農と妥協を策するが如き錯誤に對しても終始注意を怠つてはならぬ。この種あらゆる錯誤に反對してこそ、土地闘争は正確なる軌道を歩み得るのである。

土地闘争と大衆工作には二年來少なからざる經驗を得た。その要點を概観すれば次の通りである。

1. 土地分配の運動と査田運動中に於いては、均しく全力を以て廣汎なる貧農・中農及び農村労働者大衆を動員し、自ら手を動かして地主富農に對する闘争を行はねばならぬ。分田と査田との工作は、總て大衆の同意を経なければならぬ。一階級成分の處理に當つては、必ず大衆の會議を通過せしめねばならぬ。ソヴェート人員の單獨なる少數者を以てする土地分配と階級清查の進行は、大衆の闘争に對する熱情を低落せしめる危険がある。
2. 地主階級の土地以外の財産及び富農の餘分の耕牛農具家屋を沒收せるときは、その大部分を貧困なる大衆に分配すべきである。若し斯かる方法に出ることなく、少數人員の使用に供する時は、大衆の情緒は低落し、却つて搾取份子の反抗に利することゝなるであらう。
3. 土地分配を行ひ農民の手中に固定せしめなければならぬ。相當短期間に分配を行ひ、農民の手中に固定せしめなければならぬ。その後は當該地多數大衆の要求なき限り、輕卒に再分配を行つてはならぬ。斯うしなければ、それは農民の意見に違反することゝなり、農民の土地生産に對する積極性に影響を與へるのみか、且つ同様に搾取分子の爲に利用され、土地闘争の發展に障害を來すであらう。

4. 査田運動の目的は搾取成分を清查することであつて、被搾取成分の査出ではない。故に、家毎に又は土地毎に調査を行ふことは間違であつて、廣汎な大衆の動員を以て、隠れた地主・富農份子を調査しなければならぬ。
5. 分田及び査田を妨げる反革命份子に打撃を與へねばならぬ。それは大衆の同意の下に、最も嚴格なる方法を以つて行はれることが必要であつて、逮捕・監禁・大衆の公開裁判處決(銃殺)等は均しく完全に採用さるべき手段であつて、若し斯くせぬ時には、土地闘争は重大なる障礙を蒙るであらう。
6. 極力階級闘争を發展せしめ、地方闘争と族姓闘争とを避免しなければならぬ。地主階級と富農とは、極力地方闘争と族姓闘争とを以て階級闘争に代へ、以て土地革命の進行を阻碍しやうとして居るから、ソヴェート人員はこの點に注意して彼等の手に乗つてはならぬ。

7. 土地革命の發展は、農村基本大衆の階級意識と組織程度のレベルを引上げることによ據されて居る。故にソヴェート人員は廣汎且つ深刻なる宣傳を農村に行ひ、貧農團と雇農労働組合の組織を健全にしなければならぬ。土地革命は農民に土地を與へるのみでなく、農民の土地上に於ける生産力を發展せしむるものである。ソヴェートの指導と農民の労働に對する熱意との増高は、ソヴェート區の農業生産を廣汎なる地域に於いて恢復せしめたのみか、その或る部分は従前にも増した發展振りを示して居る。

斯かる基礎の上に農民の生活は大々的に改良された。農民は地主と國民黨との搾取を打倒して、生産の結果を自己の手中に掌握した。故に現在の農民の生活は、國民黨時代と比較して最少限度一倍は改良された。農民の大多數は、過去に於いては、一年間の大部分は腹を充分に満たすことは出来なかつた。そののみか、最も困窮した時は樹皮や糠糝を食ふ有様であつたが、現在では一般に飢餓の事實がないのみか、生活は年一年と豊滿して居る。過去に於いては



大多數農民は肉を食ふことなどは極めて稀であつたが、現在では次第に多くなつた。又過去の大多數農民の衣服はボロであつたが、今は一般に改良され、昔に較べて一倍も二倍もよくなつた。

如何なる生活、如何なる政權を、農民大衆は願望して居るか？ この問題に對する回答は、一切國民黨區域の農民大衆に行はしめること、しやう！（大拍手）

### 第三日（一月二十五日）

毛澤東の支那ソヴェート政府中央執行委員會の過去二年來の

工作報告演説（續）

前日に引續いて、毛澤東は過去二年間の工作報告に關する演説をなした。毛澤東は最も通俗的な語句と、質朴なる詞藻を以て、時には列席代表を動かすに足る故事・諧謔を交へた解釋をなし、満場の大衆は肅として息を殺し、或はその諧謔に満堂を笑ひに誘ひなどし、漸く午前及び午後の大會に亘つて、その報告演説を終了した。

毛の報告は前日に續いて、ソヴェート政府の各種基本政策の説明に入り、財政政策から始まつた。

毛澤東

ソヴェート財政の目的は、革命戰爭の給養と供給を保證し、ソヴェート一切の革命費用の支出を保證することである。但し莫大なる革命戦費と革命工作費との支出を有するソヴェート共和國は、それが目下のところ尙ほ全國範圍内の比較的小部分であり、又比較的經濟的に落後せる地方であること、且つ又廣汎なる大衆にとつて利益ある税制政策を採用して居る等々に依り、ソヴェート區以外の大多數の者は、ソヴェート財政は果して如何なる財源を有して居るのであるか、又反對に國民黨は廣大なる區域を領有し大量的に民血を搾取しながら、しかも財政は破産に瀕して居るのは如何なる理であらうかと、大いに不思議に思つて居る。併しこれは何の不思議もないのである。ソヴェートの財政政策と經費の用途とは、國民黨とは根本的に異つて居るのである。

ソヴェート財政政策は、階級的革命的原則上に築かれて居る。これがため、ソヴェートの財源は主として次



の三項から成る。

1、一切の封建搾取者に對する沒收或は徵發

2、税 收

3、國民經濟事業の發展

所謂封建搾取者に對する沒收・徵發とは、ソヴェート區及び白區の地主富農に對する御用金下命である。過去の經驗に依れば、この方面からの収入は常に主要なる地位を占めて居り、この現象は、國民黨の財政政策と全然反對である。ソヴェートは主要なる財源を搾取者の身上に課し、國民黨はそれを勞農勤勞大衆に負擔せしめて居る。

ソヴェートの税収は統一的累進税である。現在では、簡單にこれを二方面に於いて實行して居る。即ち商業税と農業税とであるが、税収の基本原則は、前項と同様に搾取者に重い負擔をかけて居る。

商業税の徴収は、これを分つて關稅と營業税とする。關稅はソヴェート區の需要に應じて貨物の輸出入を統制することを以て目的とする。故に完全なる免税品もあれば、百分の百の税率を課するものもある。支那領土内に於いては、只ソヴェートのみが完全なる自主的關稅制を實行し居るもので、それは如何なる外國政府の干渉をも受けず、一切貨物は邊境の稅關で納稅後全ソヴェート區を通過し得、再度の徵稅は行はれない。これは全く國民黨の厘金、關下等の窮りなき搾取の虐政を一掃したものである。

營業税は即ち商業所得税であつて（工業税は現在徵收して居らず）、商業資本の大小、純益の多少に依つて、統一的累進税を課して居る。即ち資本小額にて純益も亦少ない者は税率軽く、資本・純益大なるときは税率も大である。資本百元以下のもの、大衆の合作社及び農民が直接その剩餘生産品を賣出するもの等に對しては總て免税で

ある。

農業税は農民の革命に對する熱誠に依頼するもので、彼等の自發的納入に委してあるが、これ亦同様に累進原則に依る徵收法である。即ち一家の人口少なく土地分配も少ない者に對する課税は低く、然らざるものに重い。貧農・中農は輕税で、富農は重税である。雇農及び紅軍の家族は免税され、罹災區域は災狀の輕重に依つて減税或は免税される。

ソヴェートが採用して居る統一的累進税法は全世界の最も優良なる税法であるが、一切の資本主義的國家では採用されて居らぬか、或はその採用が徹底的でないからである。

國民黨の税法に至つては、まるで出鱈目なものである。その收税原則は、主要なものを農民及びその他の小ブル階級から徵收するものであつて、正税の外に無數の附加税がある。天津「大公報」一九三三年三月二十二日の統計に依れば、國民黨區域内の税捐名目は計一、七五六種の多きに達して居り、四川省の田賦は一九八七年度分迄預徵され、陝西省の田賦は國民黨統治制に比較して二十五倍の増加である。これが國民黨の勤勞大衆に對する「恩德」である。

國民經濟を發展せしむることに依て、ソヴェートの財政収入を増加せしめることは、ソヴェート財政政策の重要部分であつて、その明白なる効果は已に閩浙贛ソヴェート區に於いて表はされ、中央ソヴェート區に於いても現はれ始めて居る。これを有効に進行せしむることは、ソヴェート財政機關と經濟機關との責任である。茲に指出せねばならぬのは、國家銀行の紙幣發行の原則は、専ら國民經濟發展に依る需要に據るべきで、財政的需要は次要的なものとされねばならぬことである。この方面には絶對的注意が必要である。



更に財政經費の使途は儉約を旨とし、一切のソヴェート従事員をして浪費は極大なる犯罪であることを知らしめねばならぬ。食汚浪費に對する闘争は、從來些かの成績を挙げ得たが、以後は更に力を注がねばならぬ。一枚の銅貨を節して戦争と革命との事業に用ふることは、ソヴェート會計制度の原則である。ソヴェートの財政使用は、國民黨のそれと全然異なるものでなければならぬ。

ソヴェートの財政にも困難がないのではない。紅軍の擴大・戦争の發展等々、ソヴェートの面前には財政上の困難が横はつて居る。但し困難の克服は、困難自身の中にあるのであつて、革命戦争を展開すること、ソヴェート工作を改善すること、一切の國民黨區域に向て我等の財政収入を擴大すること、一切の搾取分子の肩上にソヴェート財政の負擔を負はしむること、國民經濟を發展することに依て、ソヴェートの収入を増加せしむること等々は、克服困難の方法である。

ソヴェート當面の中心任務が、帝國主義國民黨との戦争に勝利を獲得することであり、同時に當面のソヴェート區は經濟的に比較的落後せる區域であり、且つ敵の經濟封鎖の中にある等々に依り、ソヴェート經濟政策の原則は一切の可能且つ必要なる經濟方面の建設を進行し、經濟力量を集中して戦争に對する供給を行ひ、同時に極力大衆生活を改良し、勞農の經濟方面に於ける聯合を鞏固とし、無産階級の農民に對する指導を保證し、以て將來社會主義建設に到るべき前提と優勢とを形成することである。

ソヴェート經濟建設の中心は、農業生産・工業生産・對外貿易及び合作社運動を發展せしむることである。ソヴェートの農業は現在明かに進歩發展しつつある。一九三三年の農産は、一九三二年と比較し、中央ソヴェート區は百分の十五、閩浙贛ソヴェート區は百分の二十の増加である。暴動直後一、二年間に於けるソヴェート

區は、往々農業生産低落の現象を呈するが、その後土地分配が確定され、ソヴェートが熱心に指導を行ふと、農民大衆も落付いて生産を勵む様になり、生産は漸次恢復するのが常である。現在或る區域に於ては、暴動前の生産を恢復したのみか、従前に勝る成績を擧げて居り、又或る區域は暴動中に荒廢した土地を元通にした上、更に多くの土地の開拓を行つて居る。數多地方は、勞働互助社と耕田隊とを組織し、農村中の勞働力を調節し、又耕牛合作社の組織を以て耕牛缺乏問題を解決して居り、同時に廣汎なる婦女大衆は生産線上に参加して勇敢なる闘争を行つて居る。斯かる狀況は國民黨時代には絶對實現し能はざるものであつた。國民黨時代の土地は地主の私産であつたため、農民は自己の力を以てこれを改良することを希望せず、又事實不可能であつた。ソヴェートが農民に土地を分配し、生産を提唱獎勵した後、始めて農民の勞働は熱意を帯び、發展を始め、偉大なる生産の勝利を獲得することが出來たのである。茲で指出せねばならぬことは、現在の條件下に於いては、農業生産がソヴェート建設の第一位に在ると謂ふことである。それは最も重要な食糧問題解決の任務を負ふのみか、且つ衣服・砂糖・紙等諸日用品の原料問題(棉・麻・甘蔗・竹)を解決するものであり、又森林の培植、畜産の増殖も、農業の重要な部分である。

小農經濟的基礎の上に於いては、某種重要農産物に相當成績を擧ぐる計畫を以て、農民を動員してその計畫のために努力すること(例へば省毎に若干萬斤の棉花を栽培する等)は容易であり、且つ必要である。ソヴェートは本方面に一段の注意と努力とを行はねばならぬ。

農業生産の幾多基本條件、例へば勞働力問題・耕牛問題・肥料問題・種子問題・水利問題等々に關しては、ソヴェートは努めて農民を指導して圓滿なる解決を求めねばならぬ。就中、勞働力の組織的調節と、婦女の生産參加



奨励とは、ソヴェート區農業生産上の最も基本的な問題である。而して労働互助社と耕田隊との組織に關しては、ソヴェートは春耕・秋耕等の重要季節に當り、全農村民衆を動員し督促することが必要で、これは本問題を解決する有効なる方法である。少なからざる一部分農民(大約百分の二十五)の耕牛缺乏も亦極めて重大なる問題で、耕牛合作社を組織し、一切の無牛者を動員して、耕牛の合資買入れ、共同使用をなすはソヴェートの注意すべき點である。

水利は農産の命脈であるから、ソヴェートは特に大なる注意を拂はねばならぬ、目下のところでは、ソヴェート農業及び集體農業の問題を提出することは出来ないが、農業促進の目的を以て、毎郷・毎區に小範圍のソヴェート農事試験場を組織し、且つ農業研究學校及び農産品展覽所を設立することは、極めて切迫せる需要である。敵の封鎖は我々の輸出を困難ならしめ、ソヴェートは域に於ける幾多の手工業的生産は衰微した。就中、煙草・紙等はその最も著しいものである。但しこの種輸出困難は、その克服が絶対に不可能であると謂ふことは出来ぬ。尙ほソヴェート區域の廣汎なる大衆の需要を以てすれば、ソヴェート區域自身が已に廣大なる市場である。「輸出の爲には先づ自給」をモットーとして、計畫的に工業を發展せしめねばならぬ。二箇年來、特に一九三三年上半期以來、ソヴェートが注意を拂ひ始めたのと、大衆の生産合作社の漸進的發展とは、幾多の工業をして今や恢復の途に向はしめつゝある。その重要なものは、煙草・紙・タングステン・樟腦・農具及び肥料・石灰等であるが、自ら布を織り、藥品を製り、砂糖を精製する等も亦現況に於いては輕視出来ぬものである。閩浙贛方面は、從來より工業——例へば製紙・紡績・製糖等——不振の域を免れなかつたが、現在ではそれが開發されたのみか、且つ成功をさへ見て居る。彼等は食鹽の缺乏を救ふ爲に硝鹽の製造をさへ進めて居る。工業發展に關しては更に適當な

る計畫が必要であるが、散漫なる手工業的基礎の上に、全部的精密なる計畫を行ふことは當然不可能である。但し、特定の主要工業、先づ國家並に合作社經營の事業に對しては、相當程度に精密な生産計畫が絶對的に必要である。白區並にソヴェート區市場の賣行を豫測することは、凡ゆるソヴェート工業及び合作社工業の開始に當り、當然實行さるべき必須課目である。

ソヴェートが計畫的に對外貿易を組織し、且つ直接に若干件の必要商品の流通を行ふこと、例へば食鹽・布疋の輸入、食糧品とタングステン礦の輸出、及びソヴェート區内に於ける糧食の調節等は、現在極めて必要なことである。本事業は閩浙贛方面にては比較的早くより實行されて居り、中央ソヴェート區に於いては一九三三年春季より開始され、對外貿易局等機關の設立により、已に初步的成績を挙げつゝある。現在ソヴェート區に於ける國民經濟の發展は、國營事業・合作社事業及び個人的事業の三方面より同時に進められて居る。國家經營の經濟事業は、現在のところ只可能及び必要な一部分にのみ限られて居る。この方面では工業或は商業に論なく、均て已に開始され居り、その前途は實に洋々たるものがある。

ソヴェートは個人經濟に對しては、ソヴェート法律の範圍内にある限りこれを阻止せぬのみか、且つ提唱し奨励しつゝある。それは現在のところ、個人經濟の發展がソヴェートにとつて有利であると共に、必要であるからである。個人經濟は現在絶對的優勢を占めて居るのみか、尙ほ將來相當長期間必然的に優勢を保つものである。目下ソヴェート區に於ける個人經濟の發展は、一般的に小資本的形式を取つて居る。

更に合作社事業であるが、これ又頗る快速度を以て發展中である。一九三三年九月、江西・福建兩省中十七箇縣の統計によれば、各種合作社は計一、四二三箇、資本三十萬五千五百五十一元に達して居る。經濟建設大會の



提唱により、瑞金・興國等の縣の如きは、大會後一箇月間の發展は、大會前の全期間に於ける發展と比肩し得る程であつた。合作社の大規模なる發展中、現在主要なるものは消費合作社と糧食合作社で、次は生産合作社である。その他信用合作社は現在開始されたばかりである。合作運動の發展は、疑ひもなく將來ソヴェート區經濟發展の樞紐となるものである。合作社經濟と國營經濟とを適當に配合すれば、今後經濟方面に於ける極大なる力量となるであらうし、又個人經濟と長期間に互つて鬭争するときは、漸次指導竝に優越的地位を取得し、終にはソヴェート區の經濟をして社會主義經濟に到るべき條件を具有せしむるに至るであらう。故に出來得る限り、國家企業を發展し、又大規模に合作社を發展せしむることは、個人經濟發展の獎勵と同時に併進せらるべきものである。

國營企業を發展し、合作社運動を援助する爲、人民委員會は大衆の擁護の下に三百萬元の經濟建設公債を發行した。斯の如く、大衆の力量に依據して經濟建設の資本問題を解決することは、目下のところ唯一にして且つ可能なる方法である。

全支那が經濟恐慌中に捲き込まれ、數億の民衆が飢寒の苦中にある時、ソヴェート政府は一切の困難をも顧みず、革命鬭争の爲に、又民衆利益のために、一意専心經濟建設工作を進行せしめて居る。事情は極めて明瞭である、即ち只ソヴェートが帝國主義國民に打勝つことによつてのみ、又只ソヴェートがその計畫的・組織的經濟建設を實行することに依てのみ、始めて全國數億の民衆を空前の恐慌中より救出し得るのである。

毛澤東は更に語を次いで、文化建設・婚姻制度・民族政策を述べたる後、國民黨の第五次「圍剿」を粉碎し、以て全

國的勝利を闘ひ取るべき具體的戰闘任務を 一、紅軍の建設 二、經濟建設 三、ソヴェート建設 四、反帝鬭争の指導と白區工作、とに分つて報告した。

斯くて、毛澤東の報告は、中央執行委員會工作報告決議委員會に移され、討議を充分にするため、分組討議を行ふ旨、秘書長の宣告があり、第三日の大會を閉ぢた。



## 第四日（二月二十六日）

### 毛澤東報告に對する分組討議

毛澤東の報告は二十五日の夜間會議を以て終り、二十六日には、その分組討議が行はれた。分組討議は、代表團を以て單位と爲した。各分組に於ける討議の概況は次の如くであつた。

#### 瑞金・江西・閩贛代表

瑞金・江西及び閩贛並に中央一級の代表を八組に分ち、二つの問題を討議した。問題討議の順序は一定せず、一問題の討議を二時間乃至三時間とし、代表の發言は極めて積極的であつた。討議は凡て毛澤東報告の範圍と爲し、尙各代表の提出した具體事實と、最近兩年來の經驗と教訓とを以てした。これらの案は凡て組長によりて取纏め、大會に發表されることとなつた。各問題は討議完了次第それぞれ結論を與へられた。右結論に於いて各發言中に於ける誤謬が指摘された。

#### 紅軍代表

紅軍代表は全部を十三組に分ち、毛澤東報告を討議し、兩年來共產黨とソヴェートより受けた指導が正確であり、紅軍は各方面に於いて偉大なる成績を挙げ、紅軍は鞏固に擴大され、軍事上の技術と政治水準線も高上されたことを認めた。紅軍は已に敵の第四次「圍剿」を粉碎し、第五次「圍剿」に對しても、已に非常な勝利を博した。第五次「圍剿」を粉碎するにはソヴェート工作を改善し、更に紅軍の鞏固擴大を致し、紅軍の軍事技術を高上すれば、全勝を期することが出来ることを、一同は認識した。故に全力を舉げて軍事技術の高上を計り、紅軍の政治

#### 福建代表

指導を強化し、特に繼續して百萬の「鐵の紅軍」に擴張することを提議し、各代表は頗る熱烈に論じた。福建代表百二十餘名は第二招待所に於いて分組討議を爲し、許多の具體的事實を舉げて、本報告の完全正確なることを證明した。

福建代表は時に新區・邊區・白區の工作に重點を置いて、紅軍工作及ソヴェート建設を擴充すべき等々の問題を以てした。新區・邊區は實際工作により、ソヴェートの影響が日に増し擴大し居ることを説明し、且つ新區邊區の中心工作は、土地闘争・違反工作・大衆武装・遊撃戦争の展開及び優秀幹部を送りて新區・邊區の工作を建設すること、闘争中革命委員會を作ること等、許多の例を示して内容の充實した發言が行はれた。

ソヴェート建設に關しては、各代表から多くの意見が提出され、一般にソヴェート工作は、普く勞農階級の專政により、都市鄉村工作がソヴェート工作の基礎であることを認めた。福建には廣大なる新發展のソヴェート區域あるが故に、福建に於ける革命委員會の工作は一層重大であり、ソヴェートの指導方法・工作方法は、各代表の深甚なる討論の的となつた。それは、殊に福建省に於ける過去の空論主義・官僚主義の風習に對する一大痛棒であつた。

#### 粵贛代表

粵贛代表九十五名は四小組に分れ、(1)ソヴェートの民主政策、(2)土地闘争と查田運動の連絡、(3)新區と邊區の工作、(4)政治問題、(5)地方武装の五項を討論した。

#### 湘贛・湘鄂贛代表



湘贛・湘鄂代表七十餘名は、第三招待所に於いて討議を行ひ、湘贛代表は先づ當面の政治形勢から紅軍擴大の問題に結び付けて討議し、午後の會合に於いては、ソヴェート民主制度と查田運動問題を討議し、夜間は邊區新區の工作及び赤色少年游撃隊の問題を討議した。

湘鄂贛代表は午前中紅軍擴大工作を討議し、午後は查田運動を、夜は邊區・白區の工作及びソヴェート民主制度問題を討議した。

一般に過去工作中に於ける成績と弱點を指摘し、特に過去のソヴェート工作指導上の機會主義を摘發し、今後の任務に對し原則上の討議を了した。各代表の發言に現はれた誤謬は、参加者によりてその結論中に指摘され、匡正された。

#### 白區代表

白區代表と參觀者計四十數名は、三小組に分れて討議した。彼等は午前中毛澤東報告を専門的に討議し、午後には毛澤東報告に基づき、白區工作中的諸問題殊に游撃戰爭の問題に就いて討議した。この一日の討議により、各代表はソヴェート運動の許多原理と、兩年來ソヴェート中央政府の偉大なる施設を一層明瞭に諒解し、完全に毛澤東報告に同意した。討議に際して、許多の實際問題が提出された。例へば、滿洲代表の提出した東北義勇軍は労働者問題を如何にすべきか（彼等を爭取するか、それとも彼等の游撃隊参加拒絶すべきか）、東北義勇軍中の上層が下層と結合して戦線を聯合する等の問題等々があつた。贛縣吉安代表は、群衆を如何様に組織して紅軍に響應するかの問題、及び游撃隊を如何にして發展せしむるかの問題を提出した。河南代表は游撃隊が如何に大衆を指導して糧食の分配を爲し、富農を分け食ひするかの問題を提出した。これらの諸問題は、各級指導員の指導

により、何れも適當な解決を告げた。この討論中に於いて、全革命情勢に對する了解上の錯誤、例へば吉安代表の第五次「圍剿」は既に完全に粉碎せり云々、河南代表の暴動の起つた許りのときは直に分田を實行すべきものでない云々等は、他の代表に依て直に匡正せられた。



第五日（二月二十七日）

毛澤東報告に對する討論——毛澤東の中央執行委員會報告  
に關する結語

三三

前日の分組討議の結果、二十七日午前及び午後の大會に於いて、毛澤東報告に對する討論が行はれた。この討論は何れも彼の二十四、五兩日の報告演説を根據としたものであつたが、實際工作の諸經驗に基いて、具體的な意見も提出された。討論に参加發言した各代表の演説全部を収録することは些か困難であるので、比較的重要と思はれる論議だけを左に摘録する。

劉啓耀（江西代表）

余は、毛主席の報告に完全に同意であり、且つ又完全に該報告の正確なるを認める。事實、ソヴェート區域は現に確實に鞏固なる發展を爲しつゝあると同時に、紅軍擴大・經濟建設、特に昨年の借款運動に於いては、従前に比較して一層大なる進歩を見た。

然るに、斯くの如き成績を擧げ得たとは言へ、尙多くの不十分な點がある。江西省ソヴェートの工作は明かに不十分である。第一に、我等は思想鬭争・反戰會議・反官僚主義等に對しては、廣汎なる展開を見るに至らない。例へば、以前江西省ソヴェート内に於いては、古柏・謝唯俊の機會主義に對して全く時に應じた展開を爲さなかつた。彼の紹良の機會主義は久しく江西省ソヴェート中に隱蔽せられて居つたが、經常検査に於いて發見された有様であつた。第二、邊區・新區工作に對しては、從來我が江西省ソヴェートは不十分であつた。例へば、南豊

の革命軍事委員會は今に至るもソヴェートに改組せられて居らぬ。特に邊區・新區の赤衛軍・少年先鋒隊の工作に對して、我等は充分の注意を加へなかつた。中心區の優良幹部を新區・邊區に派遣して工作せしめ、その邊區・新區の工作を良好に進化せしむると言ふことに注意しなかつた。例へば、崇仁縣に於いては、現在に至るも田地を分配して居ない。赤水も亦同様である。次に邊區・新區に於ける肅反工作は大に不良である。蔣介石の探偵をして、興國・龍沙に迄潛入せしめ、辛うじて檢舉せることすらある。我等は邊區・新區の工作を強化すべきである。邊區・新區の土地問題を徹底的に解決せねばならぬ。邊區・新區の肅反工作を強化せねばならぬ。國民黨の爲に壓迫せられ、欺瞞せられて白區に去つた大衆を爭取すべきである。斯くの如くにして、我等は始めて邊區を發展し鞏固ならしめ得るであらう。

會朝聖（紅軍代表）

我等の意見は次の各項である。第一に、紅軍を鞏固にし擴大すること、特に新區・邊區の紅軍を擴大すること、紅軍自體の第一の任務である。「邊區は動員することを得ず」とは機會主義的觀點であるから、徹底的に打撃を加へねばならぬ。同時に、反革命分子の造謠・破壊は嚴重に鎮壓し、制裁を加へねばならぬ。第二に、白軍士兵を爭取して紅軍に加入せしめ、以て深く政治動員を爲して白軍を瓦解せしめること、併し一面に於いては紅軍に投じた白軍兵士に、精密なる政治教育を施して彼等を教育せねばならぬ。併せて敵の間諜が我が部隊に混入するを防止すべきである。第三、反逃兵鬭争を展開し、衛生運動を強化するを要する。第四に、紅軍紀律は強く執行すべきである。これは勝利保障の重要條件である。

周會才（興國代表）

三三



ソヴェートは飽迄も大衆の領導を強化してこそ、始めて大衆をして、ソヴェートこそは大衆自身の政權なることを諒解せしめ得るものであると自分は考へる。例へば、興國・高興區のソヴェート工作は、大衆團體に對して非常に密接なる關係を保つて居る。一切の工作は組織上大衆を動員することによりて遂行し得る、それは單に積極的に幹部が各組織中に派出されることに依りて一切の任務を遂行し得るのである。即ち、例へば紅軍擴大工作の如きは、興國に於いては各種大衆團體の力に頼つて居る。長岡郷の如きは、合計三十數箇の委員會で各種の工作を進行して居る。

公債賣捌に就いては、長岡郷は各種の大衆組織を利用し、黨團の領導に依り、會場に於いては競賽の方法を採用し、深く政治動員を爲したる爲、完全に成功を収めた。その他の工作も亦同様に効果を収めて居る。これに依りて見るに、ソヴェート工作を成功せしめむとすれば、只廣汎なる大衆に頼りてのみ、始めて完全なる成功を収め得ることを證明して居る。

#### 謝 培 蘭 (江西婦女代表)

自分は「婦女擴大紅軍」の問題に就いて述べたい。興國は昨年五月來、政治上組織上動員を爲し、幹部の領導に依りて光榮ある興國師を創造したが、茲に特に注意に値するは、勞働婦女が困苦艱難に倦まず、アジ・プロ工作に従事したることである。彼等は赤色少年模範隊中に於いて、連日連夜宣傳し、我等の新戰士を爭取し、鞏固ならしめた。昨年十二月の十日間に互る沖鋒運動期間中に、興國に於いては反機會主義運動の闘争を動機として偉大なる突撃を展開して、一千餘名の新戰士を擴大した。婦女は各種の衝鋒隊を組織して、動員工作を援助し、審査會を組織し、脱走兵を檢舉して彼等の歸隊を激勵した。且つ紅軍家族を召集して聯歡會を開催し、慰安を與へて

激勵した。故に婦女の戦争参加の積極性は、最も明瞭に表現せられて居る。併し婦女中には、紅軍擴大に就いて動搖を表示せるものが居る。彼等は往々にして、それが紅軍となるを阻止して居る。斯る分子は、動員工作を阻止する紅軍擴大破壊の罪人である。徹底的に敵人の第五次「圍剿」を粉碎する爲には、我等は須く猛烈に紅軍擴大を繼續し、倦むことなく、驕傲することなく、動搖せず、強き百萬の鐵の紅軍を創造する爲に闘争すべきである。

#### 范 樂 春 (福建代表)

二箇年來、福建省ソヴェートは中央政府領導の下に、大衆の熱烈なる擁護を受けて、各戦線上に於いて偉大な成績を挙げ得た。但し福建省ソヴェートの工作中には、依然多くの錯誤と弱點とを有つて居る。その主要なる表現としては、省ソヴェートの官僚主義と清誤主義の領導、省ソヴェートが下級の實際情況を理解せず、工作の執行状態を検査せざること、中央政府の命令と指示を討論せざること等の事實がそれである。併し他面ソヴェートは文獻を餘りに發行し、あまりに競賽の約束を定めるが、事實少しも執行せられず、最も濃厚なる清誤主義の傾向を形成して居る。又既に討論を了りたる問題にして、切實に下級の執行状態を検査せざる事例もある。故に多くの工作は成績極めて不良である。特に今回の紅軍擴大・突撃運動は、恥づべき流産に終つて了つた、これは福建反官僚主義闘争が満足に展開せられて居らぬことを表現するものである。

最近中央政府の指示により具體的に反官僚主義的闘争を展開したが、十日間の工作によりて轉變することを得た。例へば、長汀・汀東・甯南等の諸縣は突撃計畫を完全に實現した。反官僚主義的闘争を展開することに依りてのみ、始めて福建の工作を轉變し得ることが諒解せられるであらう。

#### 汪 金 祥 (閩浙贛代表)



自分は閩浙贛代表團を代表して、毛主席の報告に完全に同意する。二箇年來の事實は、中央政府が實行したる政策と法令とが、完全に正確なりしことを證明して居る。

中央政府の正確なる領導に依りて、各ソヴェート區域は何れも偉大なる發展を來し、工作は大に進捗した。閩浙贛省政府成立以來、大衆の積極性は大に表現せられて、彼等は紅軍及び地方武装に大々的に加入し、自己の武器を執つて敵人進攻に戦勝した。然るに閩浙贛はソヴェート區保衛の闘争中に於いて一箇の錯誤を犯した。それは保守主義の錯誤である。故に今後は、反對保守主義、及び敵軍進攻の面前に於いて動搖し、脱走兵となるが如き分子に對する反對の闘争を爲してこそ、始めて我等の邊區を發展し、鞏固ならしめ得るものなることを、自分は現在理解するに至つた。我等は今後游撃隊をして積極的に敵の根據地を衝かしめ、又敵の後方に迂回せしめて作戰してこそ、大勝利を得らるゝであらう。紅軍擴大に就きては、過去に於いて相當なる成績を收め得た。第十軍第十一軍及び獨立團の創造、その他無産階級團、少共國際團、反帝擁蘇中隊等の如きは、即ち何れも成立を見た。併しこれらの成績は不充分であり、且つ二、三の同志の機會主義的領導に依りて、或る時期に於いては給養困難との理由に藉口して、紅軍擴大の任務を放棄した。闘争展開以後、我等の紅軍擴大工作は大に是正せられた。今後我等は興國・瑞金の經驗を閩浙贛の實際工作に運用して、一層紅軍を擴大することに努めねばならぬ。

譚余保 (湘贛代表)

湘贛省處は中央ソヴェート區の右翼に在る。昨年湘贛に於ける紅軍擴大の成績は、湘贛の機會主義者に有力なる打撃を與へた。昨年は一萬四千人を擴大した。併し、我等の湘贛に於ける紅軍擴大工作中には、依然として缺點がある。特に歸隊運動の工作が不良である。湘贛に於ける紅軍擴大工作は徹底的に是正せられて居ない。我等の工作は、下層大衆中に深く持込まれて居らぬ。例へば、蓮花縣の責任同志は羅明路線を執行して退却逃亡した。同時に土地問題はこれ又徹底的に解決せられて居らぬ。又肅反工作も強化されて居らぬ。故に我等の今後の工作は、深く各郷市の大衆中に持込まるべきである。

成仿吾 (鄂豫皖代表)

中央政府成立以來、鄂豫皖ソヴェート區は中央政府領導の下に一九三一年七月には鄂豫皖省ソヴェート政府を成立した。短期間に紅軍第四方面軍は數倍に擴大した。大衆生活改善及び經濟建設工作に於いても相當の成績を擧げた。一般的に謂へば、大部分は土地法・勞働法を執行して居る。その他文化教育工作にも少からぬ成績を擧げて居る。

鄂豫皖ソヴェート區には失業者を見ない。最も光榮とするところは開小差(脱走兵)がなく、大衆の開小差反對の情緒が極めて強いことである。鄂豫皖には尙ほ勞農検査部が建設せられて居らず、現に勞農検査委員會はあるが、工作は不健全で、是正の必要を認める。最も薄弱なるは貧農團の工作である。一部の同志は貧農團に對し不正確な觀念を抱き、貧農の現在の生活は改善せられて居り、それは中農の生活と大差がないから、貧農團より脱退すべきであると考へて居ることである。これは非常な錯誤である。大部分は糾正せられたるも、この方面の工作を健全ならしむる様指示せられむことを希望する。

林榮昆 (瑞金代表)

瑞金の紅軍擴大は相當の成績を收めて居る。瑞金師を創造した時は模範營・少年隊を動員し、一中隊・一小隊と纏めて紅軍に加入せしめた。紅軍擴大工作は相當の成績を擧げ得たが、紅軍鞏固工作は尙ほ不充分である。逃亡



現象は異常に甚しい。これは我等の模範營・赤色少年隊の組織が不健全で、少數とは謂へ、開小差分子が指揮官や政治委員となつて居るが爲である。動員後、これらの分子は多數戦士を領導して脱走する。これは最大の錯誤である。故に昨年七、八、九三箇月間の紅軍擴大工作は、異常に不充分であつた。同時に瑞金縣ソヴェートの戦争に對する領導の注意は不充分である。甚しきは傍觀的態度を表明して居る。一般の意見に依れば、瑞金の七・八・九月の工作が停頓したる主要原因は、五月の紅軍擴大後、少年先鋒隊・赤衛軍に對する整理不充分が原因して、その後、繼續動員が不可能となつたからであると。

十一・十二・一月中瑞金は中央の直接領導下に突撃運動を進行し、一切の消極怠工分子を暴露して闘争を展開した結果、豫定數量を超過して、最近の半箇月間には一千五百名を擴大した。

朱

琪 (上海労働者代表)

私の言はんと欲するところは、白區労働運動の高漲と、白區労働者のソヴェート・紅軍擁護に對する問題である。

現在、支那の労働者の六割は失業して居る。彼等は何れも國民黨に依つて工場から追放されたものである。仕事の有る労働者と雖も、その収入は少額で、その労働は啻にその妻子を養ふに不足であるばかりでなく、本人自身の糊口にすら困難を感じて居る。労働運動は兩年來一層激化し、對資本案闘争・對國民黨闘争・對帝國主義の闘争は、何れも激烈である。斯かる闘争に参加するは成年労働者のみでなく、女工の闘争も亦熾烈となつた。上海絹糸工場の女工は常に警察から包圍され、國民黨のファッスト警察と直接に衝突して居る。同時に、最近二年來の白區労働運動は、單に反資本案・反國民黨の闘争のみならず、積極的に反帝闘争に参加するに到つた。

九三二年の上海事變には、上海労働階級は最前線に立ちて、十九路軍の士兵と共同して上海を守り、日本帝國主義と搏肉の血戦を爲した。

第二に、白區の労働者は、反資本案・反國民黨・反帝國主義闘争に於いて、ソヴェート區及び紅軍に對し、極めて熱烈なる擁護を表示し、常に大道デモを敢行し、國民黨のソヴェート區及び紅軍の進攻に對して反對した。而して彼等は、ソヴェート區中の諸情勢に就き非常なる關心を有ち、大規模な募捐を行ひ、紅軍の運動を援助した。同時に白區中に於いても、紅軍の擴大工作を行ひ、現に上海の労働者は工人團を組織して紅軍に入るべく準備して居る。

何

德 (滿洲代表)

余は全滿洲の人民革命軍・三十萬の義勇軍及び三千萬の勞農大衆を代表し、完全に毛主席の報告に同意する。余が茲に一言せむとするは、革命戦争に對するソヴェートの指導問題である。

滿洲は今や既に滅亡した。國民黨に依りて日本帝國主義に賣られた。國民黨の滿洲投出しの行動は、全國民衆の熾烈なる反對に遭ひ、ソヴェート政府は滿洲投出しに對し、再三反對宣言を發表した。これら反對宣言は滿洲全大衆の熱烈なる擁護を受け、ソヴェート政府は彼等を指導して日本帝國主義に反對し、國民黨に反對するものなることを知らしめ、彼等は紅軍勝利の消息を聴く度毎に非常に歡喜した。

余は全滿洲の勞農大衆を代表し、ソヴェートが速に帝國主義國民黨の第五次「圍剿」を粉碎せむことを要求すると同時に、我々滿洲の大衆も反日本帝國主義の游撃戦争を、益々發展強化せむとするものである。

第二に、ソヴェート區域中の勞農大衆に向つて、一層熱烈に滿洲の大衆を援助されむことを希望する。尙ソヴ



エート區の大衆は再度昨年如き募捐を起し、義勇軍を援助し、彼等をして一層大なる勝利を把握せしめむことを希望して已まぬ。

第三に、余はソヴェート區の大衆が、滿洲の勞農大衆・義勇軍に對し多大の援助を致されんことを希望する許りでなく、同時に中央政府は一層ソヴェート區の大衆を指導して、白區中の大衆闘争を援助し、帝國主義國民黨統治の顛覆を速かにするに資せられむことを希望する。

同志諸君！滿洲は既に滅亡した。日本帝國主義は現に尙ほ所謂「滿蒙王國」を建設せむとして居る。同時に國民黨は更に恥知らずの日本投降をして居る。ソヴェート及び紅軍は速かに帝國主義國民黨の第五次「圍剿」を粉碎し、同時に滿洲の義勇軍も速かに日本帝國主義の統治を顛覆することを希望して止まぬ。その時こそ、我が勞農紅軍と滿洲義勇軍とが合體して、一切の帝國主義に對し、強堅に對抗することが出来るのである。

#### 陳 德 勤（朝鮮代表）

余は朝鮮幾千百萬の大衆を代表し、大會に對し反帝の革命的敬意を捧げる！（拍手）

朝鮮は亡國二十數年來、盡く日本帝國主義の搾取壓迫を受けて居る。農村内にありては、日本帝國主義は一般に代理人を派遣し、搾取壓迫を管理せしめて居る。破産せる農民があれば、即ち日本帝國主義は彼等に金錢を貸し、五分の高利を以て彼等を搾取し、若し債務を返還すべき金錢がなければ、抵當として農民の土地を沒收する。更に穀物の播種も、煙草の播種も許されず、勞働者の生活はより苦痛を漸増して居る。朝鮮人勞働者の勞働は、日本人勞働者の四分の一にしかならぬ。待遇は極めて苛酷である。その毎日の進出振は一定の限界を越へ、且つ朝鮮勞働者と日本勞働者との衝突を挑發せむとして居る。朝鮮人學生は學校内にありて盡く日本帝國主義者の

壓迫を受け、不斷に武装監視があり、且つ種々の壓迫がある。最近學生大衆の第一回反帝運動に當つては、日本帝國主義は大檢舉を行ひ、多數の學生を逮捕・投獄し、極めて慘酷なる刑罰を用ゐ、務めて革命勞働者農民學生をして凡ゆる苦痛を受けしめ、斯くして死に至らしめて居る。朝鮮の勞農學生は斯かる情勢の下に革命要求はより痛切となり、不斷に反帝の闘争を進めて居る。「九・一八」事變の際に於いては、日本帝國主義の滿洲出兵反對のデモを行つた。朝鮮人の東三省に居住する者は三百萬に達して居る。曾ては同様に國民黨軍閥の搾取壓迫を受け、朝鮮勞働大衆は只支那勞働大衆と共に國民黨及び帝國主義に反對してのみ、始めて能く解放に到り得ることを自覺したのである。朝鮮人の現在の最も重要なスローガンは「支那革命を擁護せよ！」・「日本及び一切の帝國主義を打倒せよ！」である。

大會第二日及び第三日に互つて行はれた毛澤東の報告、即ち支那ソヴェート政府中央執行委員會の過去二年來の工作報告に對する討論は、以上を以て終了した。毛澤東は、この報告に對する結語を述べるべく、嵐の如き拍手裡に登壇した。

#### 毛 澤 東

同志諸君！中央執行委員會及び人民委員會を代表して余が大會に爲せる報告は、既に同志諸君に依り二日間に互つて討論せられ、各方面から我等の工作の經驗と教訓を批判せられた。而して、余の報告を一應承認せられた。當面の形勢に對して、この形勢から生れた任務に對して、二箇年來ソヴェート政策の各方面の實施狀況に對し、及び我等の



工作中に存在する弱點に對し、昨日の同志諸君の討論中に於いては、大體余の報告を同意せられて居る。

同志諸君の發言が、一般的に非常に正確であることを先づ指摘せねばならない。而して、昨日の分組會討論中に於ける二、三同志の發言が、不正確なる觀點に立脚したものであつたことを、この結語中に於いて指摘せねばならない。それは、第五次「圍剿」問題に關する意見が、その主なるものである。この問題に就いて、大多數同志は、何れも余が報告中に於いて述べたる、我等は五次「圍剿」に對する第一歩的勝利を取得した、而し五次「圍剿」の最後の決戦は、依然として嚴として我等の面前に置かれて居る、廣汎なる大衆を號召し、一切の力量を團結し、五次「圍剿」最後の決戦の勝利を爭取することが、我等當面の最も重大なる任務であるとの談話を承認して居る。分組討論中に或る同志は、「五次圍剿は既に完全に粉碎せられた」と述べられたが、この意見は正しくない。又或る同志は、「五次圍剿は我等僅かに粉碎の準備中である」と述べられたが、この意見も正しくない。前説は自己の勝利を過分に打算して居り、ソヴェエト最後の「圍剿」粉碎の嚴重なる任務を輕々に取扱つた説である。而し實際は蔣介石は一切の力量を集中して、大舉最後の進攻を爲しつゝあり、故にこの打算は不正確にして且つ非常に危險である。又後説に就いては、數箇月を出ずして紅軍は苦戰奮闘中より既に敵軍に相當なる打撃を與へ、第一歩的勝利を得つゝある。

この勝利は、第四次「圍剿」を粉碎したる偉大なる勝利と同じく、第五次「圍剿」を徹底的に粉碎する有力なる基礎を爲すものである。故に自己の成績に對する打算が不足なることは、同様に甚だ危險である。福建の人民革命政府に對して、多少革命性を帯びて居るが、決して完全なる反革命ではないとの或る同志の意見も正しくない。

余は報告中に於いて、福建人民革命政府は反動統治階段の一部分の出現である。將に死せむとする自己の運命を輓回せむが爲に、民衆を欺瞞せむとする爲に付けた新しき模様過ぎないことを指摘した。彼等は、ソヴェエトは彼等

の仇敵なることも知つて居る。而し、國民黨の看板は餘りに陳腐である爲、人民革命政府等と稱して、第三條の通路を號召したのである。他の同志は又分組會の席上に於いて正しくない談話をされた。彼はソヴェエトには紅軍の擴大もなく、遊撃隊もない、農民は依然地主に地代を支拂つて居る、と謂はれたが、その談話は完全に虚言である。自分はそれを説明する必要はないと思ふ。又或る同志は、福建の工作人員は皆機會主義者許りであると謂はれたが、これも説明する必要がないと思ふ。二、三ソヴェエト工作人員中には、機會主義分子が居て奇怪な事をして居ることを承認する。我等はこれらの分子に對して斷然闘争するの要がある。婚姻問題に關しては、余は報告中に於て男女兩方の一方が離婚を要求する場合は、ソヴェエト政府は離婚を許可すべきことに言及した。而し紅軍の家族は例外である。紅軍の戰士の戰鬥決心を鞏固ならしむる爲、紅軍戰士の妻は離婚の要求には必ず夫の同意を得るを要し、只二箇年間その音信を得ざる場合に限り、妻の一方のみの離婚を提出し得ることを中央政府は規定して居る。結婚年齢問題に關しては年齢の低下を主張する同志も少くない。而し此の意見は妥當に非ずと考へる。種族と階級の利益の爲に、結婚年齢は男二十歳、女十八歳以下に低下すべきではない。早婚は極めて大なる害あることを知るべきである。同志諸君！少しは辛棒しなければならぬぞ（滿場爆笑する）。従前地主資産階級の統治下に在つては、貧苦勞農は四、五十歳にして未だ結婚出来なかつたのである。現在一年や二年待ちきれぬと謂ふことはあるまいと思ふ（全场又大笑）。

以上は余の結語中の一部分にして、結語の主要部分は依然以下にある。最も重要な問題にして、同志諸君が討論中に於いて注意しなかつたのは、大衆生活と革命戰爭とを聯繫せしむる問題である。この問題は、昨日及び今日の討論中に指摘せられなかつたところであるが、余はこの問題を明かに提出すべきであると考へる。

ソヴェエトの中心任務は、廣汎大衆を動員して革命戰爭に参加せしめ、革命戰爭を以て帝國主義國民黨を打倒して



革命を全国的に發展し、帝國主義を支那から驅逐し、革命戦争を領導し、革命戦争を組織するに在る。優良なるソヴェート工作員は、この中心任務に對して非常に深刻・明確なる認識を持たねばならぬ。若しこの任務を眞に理解し得るならば、革命戦争の發展こそ、我等の基本的切迫せる任務なることが解り、又如何なることあるも革命を全国的に發展せねばならぬことが判るであらう。廣汎大衆の切實なる利益問題と、大衆の生活問題に關しては、毫もこれを忽視し、輕視し得ざることが判るであらう。

何故か？戦争は大衆の戦争であるから、大衆を動員してこそ始めて戦争を進行し得べく、大衆に依頼してこそ始めて戦争を進行し得るのである。

故に戦争に關する任務を廣汎大衆の面前に持込み、大規模に大衆を動員して戦争に参加せしめ、戦争を擁護せしめねばならぬ。斯くして始めて戦争勝利を得られるであらう。而し、戦争動員のみならず、他の工作を爲さず、戦争勝利の目的を達し得るであらうか？それは不可能である！勝利を得むとすれば、他に多くの工作を行はねばならぬ。而して、ソヴェートの基本法令を實現し、廣汎大衆の利益を保障し、労働者の經濟闘争を領導し、資本家の利益を制限し、農民の土地闘争を領導し、土地を農民に分け與へ、農民の労働を高め、農業生産を増加し、合作社を建設し、對外貿易を發展せしめねばならぬ。大衆の衣食住問題、燃料・米鹽問題、疾病、衛生問題、婚姻問題、全大衆の實際生活問題は、ソヴェートの注意を要する重要問題である。若しソヴェートがこれらの問題に注意し、討論し、解決して、大衆の需要を満足し、眞に大衆生活の組織者としてソヴェートが立ち得るならば、大衆は眞にソヴェートの周圍に集り來り、熱烈にソヴェートを擁護するに到るであらう。

同志諸君！この時ソヴェートは大衆の戦争の参加を號召し、大衆に向つて戦争の爲に一切を犠牲にすることを要求し得るであらうか？その時に於いてこそ、必ず出来るであらうと自分は考へる。ソヴェート機關中に於いて、或るソヴェート人員は只紅軍擴大のみを唱へ、土地税を徵收し、公債を賣捌くこと許りして、他のことは一切顧みざりし者があつた。嘗て汀州市ソヴェート政府は、紅軍擴大のみ計畫して運輸隊を動員したが、大衆生活問題は少しも取扱はなかつた。汀州に於いては燃料なく、資本家は食鹽を買占めて食鹽缺乏し、大衆は住むに家なく、土豪の家は大衆に分配して呉れず、米は缺乏して米價は騰貴して居た。これは汀州大衆の實際問題にして、彼等はソヴェート政府の解決を切望して居た。當時汀州市ソヴェートは、少しも討論せぬので、改選したけれども一百餘名の代表は、數回に互り紅軍擴大と運輸隊動員を討論したるのみで、毫も大衆の生活を考慮しなかつた。その後、代表會議すらも充分召集出來ざる爲、出席參會すら欲せぬ様になつた。「擴大紅軍・動員運輸隊問題」は如何であつたか？以上の如き有様に於いて成績は少しも擧らぬ有様であつた。

而しこれと反對に、江西の長岡郷・福建の才溪郷は、紅軍を大いに擴大して居る。長岡郷の成年青年男子の八割迄は紅軍に加入した。才溪郷は百分の八十八迄紅軍に加入した。公債も大いに賣捌かれて居る。長岡郷全郷一千五百人に四千五百元の公債を賣つた。戦争動員工作の全部に大なる成績を擧げて居る。それは如何なる理由に依るものであらうか？彼等は大衆生活問題に注意して居るからであることが、諸君にも諒解出来ると思ふ。數箇の例を擧げむに、長岡郷で一貧農が火事に逢つたが、郷ソヴェートは大衆を動員して六串錢の義捐金を募集して彼を援助した。又三人の食へない者が出來た時。郷ソヴェート五濟會は直に米を集めて彼等を救濟した。昨年早魃に、郷ソヴェートは二百餘里の公路縣、永南富田等より米を集めて來て、大衆を救濟した。才溪郷のこの工作は、非常に良く行つて居る。斯かるソヴェートは眞に模範ソヴェートと謂へる。彼等は汀州市の機會主義・官僚主義の指導とは絶対に同一でない。



我等は長岡郷・才溪郷を學び、汀州市官僚主義の領導に反對せねばならぬ。余は大衆生活上の問題に深甚し注意を要することを大會に提出する。土地勞働問題より、燃料・米・油・鹽問題に至る迄、又婦女志の百姓習得の要求に對しては誰をしご致へしむるか、小供の勉學の爲にレーニン小學が經營されたか？向の木橋は狭過ぎるから修理する必要なきや否や？疾病に對して如何なる方法を考へて居るか？等一切の大衆生活問題は、各ソヴェートが自己の議事日程上に提出して討論し、解決し實行し、檢査して、廣汎大衆をしてソヴェートは大衆利益を代表せるものにして、彼等と相通せるものなることを認識せしむべきである。この點から出發して、ソヴェートを擁護せしめ、ソヴェートの提出したる更に高度の任務を理解せしめ、以てソヴェートの政治口號を接受せしめ、ソヴェート勝利の爲に何處迄も闘争せしめねばならぬ。長岡郷の大衆は「ソヴェート・紅軍・共產黨は、眞に我等の爲に何事でも考へて居つて呉れる」と謂つて居る。模範的長岡郷のソヴェート、尊敬すべき長岡郷のソヴェートよ！彼等は廣汎大衆から眞に擁護せられて居る。

彼等の戦争・動員・號召は、廣汎大衆の擁護を得て居る。見よ！長岡郷は百分の八十迄壯丁は前線に行つた。大衆の擁護を得、大衆をして全力を擧げて戦争に赴かしむる爲には、大衆と共同し大衆の積極性を發動し、大衆の切迫せる問題に對して關心を持ち、眞に誠心より大衆の利益を計り、大衆の食鹽問題・住居問題・衣類問題より出產問題に至る迄、一切の大衆問題を解決してやらねばならない。若し我等が以上の如く爲すに於いては、廣汎大衆は必ずソヴェートを擁護し、それを彼等の生命とも考ふるに至り、ソヴェートを以て彼等の無上の光榮ある旗幟なりと考ふるに到るであらう。

國民黨は現在堡壘工作を實行して居る、大いに要塞を築造して、それを金城鐵壁の如く考へて居る。これが果して金城鐵壁であらうか？同志諸君！そうではないのである！見よ！諸君、幾千年來、封建皇帝の城地宮殿は堅固であつたらうか？大衆が一度立つや、それは悉く倒毀されてしまつた。露國皇帝は世界中最も兇惡なる存在であつたが、無産階級及び農民の革命が起り、廣汎大衆の暴動が起るや、皇帝は消失してしまつた、金城鐵壁も破壊された。同志諸君！眞の金城鐵壁とは何か？即ち大衆である。千百萬の誠心よりソヴェートを擁護する大衆である。是こそ眞の金城鐵壁であつて、如何なる力量も打破することは出来ない。反革命は我等を打破し得ない、我等こそは反革命を打破り得るであらう。ソヴェート政府の周圍に數千萬人の大衆を團結し、大規模の革命戦争を發展して、我等は一切の反革命を消滅し、全支那を奪取せねばならない。

第二の重要問題に就いては、同じく大會に向つて提出せなければならぬと考へる。それは工作方法の問題である。ソヴェートは大衆生活の領導者、組織者である。革命戦争の發展・大衆生活の改良は、我等の任務であり、我等の目的である。この任務と目的は口頭だけのみならず、これを實行せねばならぬ。この領導方式・工作方法の問題は、嚴然に我等の面前に我等の面前に置かれて居る。我等は任務を提出し、目的を確定するを要するのみならず、任務實現と目的達成の方法に就き解決するを要する。我等の目的は、河を渡ることであるが、橋がないから渡ることが出来ない、橋の問題を解決せねば河を渡ることが一つの空虚なる話となり、方法問題を解決せねば、任務も單なる虚言となる外はない。紅軍擴大の領導に注意せず、紅軍擴大の方法を考究しなかつたならば、紅軍擴大を一千遍唱へても、朝も晩も明日も今日も和尚の念佛の様に唱へても、紅軍は少しも出來て來ないのである(滿場洪笑)。ソヴェート工作中には斯くの如き傾向はないだらうか。有る！それは決して少くない。瑞金と福建に就いて見るに、瑞金の紅軍擴大の突撃運動は、賞讃に値する。彼等は中央局と中央革命軍事委員會の直接指導下に在つて、十二月一日から一箇月半の間に四



千人近く擴大した。即ち彼等は正確なる方法を運用して、機會主義と官僚主義の鬭争を展開し、大衆の階級鬭争を展開したから、斯くの如き成績を擧ぐることを得たのであつて、今回全ソヴェート區擴大紅軍突撃運動の第一優勝者ともなり得たのである。然るに福建は如何？全省十數縣の成績は僅に瑞金一縣に及ばない。最近半箇月間は、中央局直接指導下に工作方法を變更したが、十二月の如き官僚主義的指導を以てしては瑞金一縣の成績にも及ばない有様である。瑞金に於いては、最近四十五日間に四千人を擴大したが、昨年八月箇月中には僅に三十人を擴大したに過ぎない。官僚主義の領導と、切實にして具體的なる領導とは、斯くも大なる差異を生ずる。紅軍擴大は以上の如くであるが、公催賣捌狀況に就いて見るに、瑞金にては賣盡し、且つ二十四萬元を收入した。零都縣は如何に？機會主義と官僚主義の領導下にあつて僅に一萬九千元を賣捌いた、彼等が受取つて行つた十九萬の公債票は、官僚主義の箱の中に十數萬元保存せられて居たのだ。長岡郷一箇所だけで四千五百元を賣捌いた、平均一人が三元八角を買つたのである。以上の事實は、即ち領導方式・工作方法の問題が如何に肝要なるかを我等に教へる。查田運動・經濟建設・文化教育・新區邊區工作等々、一切のソヴェート工作は、單に任務を提出したるのみにして、領導を實行せず、工作方法に注意せず、機會主義反對と官僚主義反對の鬭争を展開せず、脅迫命令を棄て、力強く説服の方法を採取することをしなかつたならば、如何なる任務たりとも實現し得ないであらう。

興國縣の工作同志、興國縣の廣汎大衆、彼等は第一等の工作を創造した。彼等が模範的のソヴェート工作をしたことに對しては、我等は鄭重に彼等を賞讃してやらねばならぬ。東北の工作同志、東北の廣汎大衆、彼等も優良なる創造工作をして居る。これ亦ソヴェート工作の模範と稱すべきである。興國縣の同志・東北工作同志等は、大衆生活と革命戦争とを聯合した。彼等は工作方法と革命任務とを同時に解決した。彼等は其處に在つて熱心に工作を進行し、

彼等は仔細に問題を解決して居る。彼等は革命の面前に在つて眞に責任を負擔して居る。彼等は眞に革命戦争の組織者であり、指導者である。彼等はソヴェート工作の最も光榮ある領袖である。その他福建の上杭・長汀・永定縣等の二、三地方、廣東の西江縣等、湖南の茶陵・永新・吉安等の縣、湘鄂區の隅新縣その他、江西の多數の區郷及び瑞金直屬縣等は進歩せるソヴェート工作をして居り、大會に於いて何れも賞讃すべきものである。而し、爾餘の諸地方に於けるソヴェート工作は、依然として満足し得ない状態にあることを茲に指摘しなければならぬ。閩贛粵贛と湘鄂贛省等多數の地方に於けるソヴェート工作は、依然として多くの弱點を有して居る。福建と湖南は遠く江西と閩浙贛に及ばない。即ち福建省ソヴェートの領導は、重大なる官僚主義を犯して居る。多くのこれら地方の工作人員は、大衆との關係が良くない。彼等は革命戦争と大衆生活とを密接に聯繫すべきであることを知らぬ、又大衆領導藝術の學習に努力すべきであることを知らぬ、良好なる工作方法を爲さねば工作任務を實現することが出来ないことも知らぬ。一切のソヴェート工作は、完全に革命戦争に配合すべきであることも知らぬ。これら地方の工作は第二次全國ソヴェート代表大會の後には、徹底的に轉換すべきである。特に彼の機會主義者と官僚主義者とは、下層の狀況を明瞭に知らず、大衆の情緒を理解せず、只空談ばかりして居る。甚しきは、強制命令を出してソヴェート工作に對抗して居る。大會は嚴重にこれら責任者の責任を問はむとするものである。彼等の觀念も、方法も、絶対に間違つて居る。それはソヴェート工作を破壊するものである。この地方の大衆中からは、優秀なる工作同志が輩出して居る。これら同志は、この機會主義者と官僚主義者に對して嚴格なる自己批評を實行し、彼等を指導し援助して、錯誤を改めしむべき責任を負はねばならぬ。我等は偉大なる革命戦争の面前に立つて居る。我等は敵の大規模なる「圍剿」を突破すべきである。我等は革命を全國中に推し擴げねばならぬ。全ソヴェート人員は絶大なる責任を負擔して居る。大會以後は



切實なる方法を用ゐて我等の工作を改善せねばならぬ。先進せる地方は一層前進せねばならぬ。落後せる地方は先進せる地方に追付かねばならぬ。而して數千箇の長岡郷、幾千箇の興國縣を作らねばならぬ。これ即ち陣地の前進である。我等は陣地を占據し、この陣地より出發して、敵軍の「圍剿」を粉碎し、帝國主義國民黨の全國的統治を打倒し、革命をして全支那に勝利せしめねばぬのである！（大拍手）

中央執行委員會と人民委員會報告の結論はこれを以て終る。その他は報告に申し述べて居るから、重複を避けることにして、茲に余の結語を完了する。（猛烈なる拍手）

## 第六日（二月二十八日）

### 朱徳の紅軍建設に關する報告——朱徳報告に對する討議

二十八日午前の會議に於いて全國紅軍總司令朱徳は、紅軍建設に關する報告を演説した。朱徳の報告は、林伯渠のソヴェート經濟建設及び吳亮平のソヴェート建設に關する報告と共に、支那ソヴェート政府の新動向を示すものであり、大會以後に於ける具體的工作方法を指示するものとして注目される。以下に朱徳の報告概要を摘録する。

朱 徳

支那革命の危機は日に増し深刻となりつゝある。支那勞農紅軍は、支那に於ける反帝國主義の土地革命闘争中に生れたところの支那革命の柱石であり、帝國主義國民黨は全力を擧げてソヴェート區と紅軍を攻撃しつゝある。然して紅軍將士の勇敢なる闘争と、共產黨及びソヴェート中央政府の正確なる指導、竝に大衆の熱烈なる擁護・支持とに依つて、國民黨の屢次に互る「圍剿」を粉碎し、現に最後の第五次「圍剿」に對して、全戰鬥力を傾盡してこれとの決戦を試みむとして居る。

茲にこの二年來に於ける光輝ある戰鬥記録、及び紅軍建設中に於ける各個戰鬥任務を分析して、次の如き結論を提出する。

帝國主義國民黨のソヴェート區及び紅軍に對する第四次及び第五次「圍剿」中に現はれた慘虐極まる屠殺・掠奪・爆撃・非人道的なる經濟封鎖、穀物徵發、住居追放、更に大掛りな堡壘の築造、欺瞞宣傳等々に就いては、余は機會ある毎にこれを暴露して來た。殊に軍隊のファシスト化實行及び大衆の連帶保安、國民黨軍隊の連帶責任等々は注意



を要する（とてこれらに關して最も詳細なる分析批判を試みた）。

第二は、紅軍の各戦線に於ける戦闘成績である。（紅軍の戦闘記録に就いて、朱徳は中央ソヴェト區・閩浙贛ソヴェト區・湘鄂贛ソヴェト區・湘鄂豫皖ソヴェト區及び川捐ソヴェト區の各方面軍が、國民黨の第四次「圍剿」粉碎に成功せる功績を絶讃した。更に全国各地に互るパルチザン戦争の現情勢を述べ、陝西・河南・山東・四川の各省、東江・閩南及び東北義勇軍・四川抗捐軍・川康峨馬邊等の遊撃隊の發展情勢に論及した。）

紅軍の擴大強化に關して、若干の問題を提供する。二年來の紅軍發展の情勢は、廣汎大衆の熱烈なる支持・擁護に依て、愈々堅固さを加へ來つたことを明言し得る。余は茲に二年來の紅軍の擴大強化の成績を決算すると共に、更に紅軍の新編制實行の資料を提供する。即ち紅軍の擴大とその鞏固化を圖らんとすれば、政治工作を強化し、軍事政治教育を向上し、後方工作を強化し、以て正規紅軍を創造すべきである。

戦争動員と大衆闘争との配合に就いては、特に遊撃區域とパルチザン戦を擴大せしめ、白兵工作の發展せしめ、紅軍に對する給養と戦費を充分にし、赤色少年隊を動員して作戦と運輸を調節し、紅軍家族の優待を強化すべきである。

余の報告の結語は、以下に要約される。即ち百萬の紅軍を建設することであり、且つ紅軍の闘争情緒を強大にし指揮を統一することである。屢々繰返したが如く、國民黨軍隊との決戦、即ち勞農兵勤勞大衆のソヴェト軍隊たる紅軍と、土豪・劣紳・資本家・帝國主義の走狗たる國民黨軍隊との決戦は、まさに行はれんとしつゝある。

支那勞農紅軍は、新支那ソヴェト完成へのコースを爭取する最後の勝利主力軍である。紅軍の鐵擧こそ必ずや、最後の勝利を我等の頭上に招來するであらう。（大拍手）

二十八日夜間會議に於いて、朱徳報告に對する討論が行はれ、羅・何・張等の發言があり、更に二十九日の朝間會議に於いて、討議を續行することとなり、第六日の會議を終了した。



第七日（二月二十九日）

朱德報告に對する討論（續）——朱德の紅軍建設報告結語——林伯渠のソヴェート經濟建設報告——林伯渠報告報に對する討論

二十九日は早朝から朝間會議が開かれた。前日に續いて、全國紅軍總司令朱德の紅軍建設報告に對する討論が行はれ、孔・李兩代表の發言があり、何れも簡單明瞭に朱德報告に同意の旨が述べられた。次いで登壇した朱德は、紅軍建設報告に對する結語を述べ、滿場は大拍手を以てこれを可決した。

午後の會議に於いて、林伯渠は、過去二年來のソヴェート經濟建設の情況と今後に於けるソヴェート經濟建設に就き、特に注意すべき諸問題を約四時間に亘つて詳細に論述した。林伯渠とは、嘗ての廣東農民講習所主任教授として、支那農業問題に對する該博なる知識を謳はれた林祖涵の別名で、彼は一九二七年の國共分裂以來、久しくその名を實際運動の表面から消してゐたものである。

林 伯 渠

我々は、この二年來の經濟建設の過程に於いて、少なからざる成績を収めることが出來た。我々の經濟建設は、相當成功の域にまで到達した。然して、帝國主義國民黨統治下の諸地方に於いては、空前の深刻なる經濟恐慌が起り、工業生産・農業生産は何れも大々に低下し、殊に絹絲工場は全部停業し、産業労働者の六割は失業した。全支那の災民は一億以上に及び、極めて重大なる經濟危機を形成した。然るにも拘らず、我がソヴェート地區に於ける經濟建設中、我々の達成した成績は、以下の如く諸多の方面に亘つて良き結果を示して居る。

一、工業・農業上の生産は大に高上し、工業生産は全般的に暴動前の状態を恢復し、農業生産は一〇〇分の五乃至二〇を増加した。

二、對外貿易局を建設して對外貿易を發展せしめ、ソヴェート區の市場を繁榮せしめた。

三、糧食調濟工作は非常な成績を挙げ、糧食調濟局を建設し、幾多の糧食合作社を充實し、大衆を動員して、糧食集收運動を起し、相當の成績を挙げた。

ソヴェート區域に於ける我等の經濟建設工作は、今後も尙土地生産と工業生産を向上し、對外貿易を隆盛にしてソヴェート市場を繁榮せしめ、合作社運動を展開し、資本を集中してソヴェートの金融を強固にし、特に糧食を收集する運動は、當面最も強化を要する問題である。更にソヴェート區住民の階級意識の高上を圖り、經濟建設機關の指導を強化し、斷然一切の經濟建設に對する陰謀・破壊、竝に消極的サボタージユ分子を排撃しなければならぬ。

經濟建設工作は必ず戰爭動員と聯繫を保ち、經濟建設と戰爭動員に對する一切の對立的觀念、及び一切の左傾・右傾の機會主義を打倒しなければならぬ。ソヴェート經濟建設は、將來社會主義建設の前提を創造するものであり、經濟建設の成功は勞農大衆が解放を闘ひ取る重要條件であらねばならぬ。

以上を以て林伯渠の報告を終り、引續いてその討論に移つた。閩贛區代表、閩浙贛區代表等の重要發言があり、次いで福建區代表鄧子恢登壇。

鄧 子 恢

合作運動・糧食集收問題及び公債割當問題に對する林伯渠同志の報告に余は完全に同意する。且つ我々の當面



の主要なる任務は、經濟建設工作の強化に在り、討論進行中に或る代表が説明されたるが如き經濟建設と戰爭動員を分離するは、全然錯誤であり、矯正しなければならぬ。斯かる錯誤を克服し、以て經濟戦線上の全勝利を闘ひ取らねばならぬ。

二十九日午後の會議は、これを以て打切り、林伯渠報告に對する討論は、更に翌日に繰越されることゝなつた。

## 第八日（一月三十日）

林伯渠報告に對する討論（續）——林伯渠のソヴェート經濟建設報告結語——吳亮平報告に對する討論

前日から繰越された林伯渠報告に對する討論は、三十日午前の會議に於いて續開され、續いて林伯渠のこれに對する結語演説が行はれ、満場一致を以て可決された。林伯渠は、その討論に現はれた一部代表の錯誤的觀念、例へば、穀價の抑低、敵の經濟封鎖紛碎を誤りて敵の經濟封鎖を保證する等々に就いて、その結語中にこれを指摘・矯正した。

午後の會議に於いて、吳亮平のソヴェート建設に關する報告が行はれた。第二次全國ソヴェート代表大會の列席者の大多數は、各地ソヴェートの工作人員であり、彼等は二年來のソヴェート建設成績を知悉することを熾烈に期待し、吳の報告は急霰の拍手を以て迎へられた。

吳 亮 平

同志諸君、余は唯今からソヴェート建設に關する報告を開始する。余の報告は以下の四項から成る。第一は、ソヴェート組織の鞏固化と、革命戰爭の關係に對する問題である。（と前提して、兩年來のソヴェート建設の成績に就いて述べ、一事例を採用して、ソヴェート組織の強化——即ちソヴェート建設が、革命闘争の發展に密接不離の關係に在ることを證明した。）第二は、各級ソヴェートの組織と工作に關する報告である。余は茲に各省に於けるソヴェート工作狀況に對する批判を試みる（としてこれが短評を爲し）、ソヴェートの強化は必ずしも多數の工作者を必要としない。重要なることは、大衆を發動して工作に参加せしめるに在る。即ち、村ソヴェート・市ソヴェートの工作こそ、ソヴェ



トの基本組織であるから、その重要性を強調する次第である。尙ほ邊區・新區の工作も亦深甚の留意を爲すべきである。第三は、ソヴェトをして更に大衆化せしむるには如何にすべきかの問題である。

大衆を如何にして動員し、革命戦争に参加せしむべきかに就き、吾人は須くソヴェト中の民主主義を發揚し、一切の大衆團體と密接なる關係を作り、我々のソヴェト工作方式を改善し、ソヴェト機關中に隱藏されたる、階級異分子の検出を嚴にすべきである。第四は、ソヴェト政權の無産階級指導の問題である。即ちソヴェト機關中に於ける無産階級の指導を強化し、共產主義教育の徹底を強化すべきを指摘する。

吳亮平の報告は、午後二時から五時半迄を費し、夕食後の夜間會議に於いてこれが討論が行はれた。

## 第九日（二月三十一日）

吳亮平報告に對する討論(續)——吳亮平のソヴェト建設報告結語——劉少奇の勞働組合運動概要報告

吳亮平のソヴェト建設報告に對する討論は、三十一日會議に於いて續開され、午前八時から十時迄に亘つて行はれた。吳亮平は更に十時から約二時間に亘つて、該報告に對する結語を述べ、滿場の拍手裡にその報告を終了した。

吳亮平の結語演説を以て、議事日程を終り、同日午後の會議に於いては中華全國總工會を代表して、劉少奇が「二年來のソヴェト地區に於ける勞働組合運動概要」に關する報告を試みた。

劉 少 奇

余は茲に二箇年のソヴェト區勞働組合運動に就いて、簡單なる概括的報告をしたい。

ソヴェト政權は無産階級の領導する勞農兵政權である。ソヴェト政權下の勞働組合は團體教育を爲し、勞農大衆を領導する唯一の組織である。勞働組合はソヴェト政權に最も重要な大衆的柱石であるから、ソヴェト區の勞働組合運動を發展し、進歩し、鞏固ならしめることは、ソヴェト政權に對して極めて重要である。第一次全國ソヴェト代表大會以後の勞働組合運動は、従前と較べて偉大なる進歩と成績を收め得た。理論に於いて、獨り勞働運動中の各種の重要原則問題を正確に解決し得たるのみならず、實際に勞働組合の領導を革新し、勞働組合の領導機關をして完全に無産階級化せしめ、ソヴェト區百分の九十以上の勞働者を吸収して勞働組合に加入せしめ、大に勞働組合を組織し、數萬・數十萬を擁する三箇の勞働組合(農業工會・店員手藝人會・苦力運轉工會)を成立した。更に



労働組合の民主性を發展し、労働者階級の生活を改善し、労働者の地位を高め、大に労働者のソヴェート参加と紅軍建設の積極性を發展し、數千・數萬の労働者及び積極分子をして一切のソヴェート工作機關に参加し、中央政府毎次の戰闘號召に最も痛烈なる實際的回答を與へた。これは中央ソヴェート區に於いて最も明顯である。

先づソヴェート區の労働者生活の改善に就きて言ふならば、第一次全國ソヴェート代表大會は労働保護法を公佈し一九三三年に若干の修正が加へられた。右法に依り、ソヴェート政府は労働者生活改善の基本條件を確立し、労働組合の有力なる活動に依り、殊に労働契約の運動と労働者大衆の闘争に依り、主要なる要求は一般に實現し得た。且つ我等は機械的に労働法を執行する錯誤を糾正した。都市と鄉村の長期在職労働者は、殆んど完全に各種の集體契約・労働契約に包括せられた。鄉村の短期労働者の一部分は契約を訂結した。この契約に於いて、大部分は労働法上に規定したる條件以上を獲得した。

工作時間に就いては、長期労働者は完全に八時間工作制を實現した。鄉村の短期労働者と雜役労働者も大部分八時間制を實行して居る。十八歳以下の少年工と十六歳以下の幼年工は、工廠・作坊及び商店中に工作しつゝある者は、全部六時間と四時間工作を實行した。この外、日曜日の休暇、記念日の休暇及び毎年半箇月より一箇月の定例休暇は既に實行せられ、賃銀を支給されて居る。國家工廠の大部分は毎年一箇月の定例休暇がある。汀州の店員・一部労働者は毎年二箇月の定期休暇がある。賃銀も大に増加した。革命前に比較すれば、最少百分の二十を増加し、一部労働者中には數倍數十倍に増加したのもある。

左に汀州市労働者の賃銀比較表を示そう。

	革命前毎月の賃銀	一九三三年毎月
京菓労働者	二元乃至一〇元	二八元乃至三二元
紙業労働者	三元同 一〇元	三一元同 三五元
油業労働者	三元同 六元	一二元同 一八元
藥業労働者	二元同 六元	二六元同 三〇元
創煙労働者	三元五角同七元	三〇元同 三六元
印刷労働者	五元同 一五元	二八元同 三六元
五金匠労働者	六元	一四元同 一八元
木船労働者	一四元	四六元
染業労働者	二元乃至 五元五角	一八元乃至二〇元
油紙労働者	二元同 五元	一七元同 二〇元
酒業労働者	三元同 六元	一八元同 二〇元
布業労働者	二元同 一〇元	三一元同 三五元

汀州労働者の賃銀は最も増加した。その他各都市の労働者、例へば瑞金・博生・石城・零都・會昌等は同様數倍に増加した。又労働者の食事は大に改善せられ、労働者住宅は大に改良せられた。ソヴェート區には家賃を支拂ふ労働者は一人もなくなつた。國家工廠の労働者は昨年中増加を見て居る。兵工廠・造幣廠労働者の賃銀は、毎月十一元最高約三十二元である。見習工は食事の外に賃銀を貰つてゐる。米價の高いときには、毎月一元乃至三元の米手當を受



ける。且つ國家工廠の消費組合は大に労働者を援助して居る。工廠と工房の衛生設備は大に改善せられた。

郷村の労働者及びその家族は殆んど土地を分配せられて居る。且つソヴェート政府は彼等に土地税を免除して居る。各縣に於いては、少數の手藝労働者が田地を分配されずに居るが、それは全數の百分の一二位のものである。併し郷村労働者の賃銀は依然増加して居る。例へば、興國の雜役労働者の賃銀は以前は毎日五百文、現在は六百文である。公略では、以前の三百六十文が現在では七百文である。萬太では、以前六百文、現在は六百四十文である。贛縣は、以前は四百文、現在は七百文。閩浙贛では裁縫職人は以前大洋一元に付十二日工であつたが、現在は七日工である。大工は以前毎元七日工であつたが、現在は四日半工。農業労働者は以前大洋一元十日工が、現在は七日工である。理髮職人は以前毎年一人六升であつたが、現在は一斗五升となつた。湘贛に於いては、去年は雜役労働者は一人毎日四十文を増加した。

労働者の賃銀が獨り増加したのみならず、労働者に對しては完全なる社會保險を實行し、労働者の疾病・傷亡・出産或は一切の不幸なる事件に對して、保險局或は資本家と完全なる保險を享有せしめて居る。

帝國主義國民黨がソヴェート區を進攻し、經濟封鎖を爲すや、昨年以前はソヴェート區に多數の失業者を出した。併し、現在中央ソヴェート區と閩浙贛區失業者の問題は大に解決せられた。昨年中央ソヴェート區・湘贛區・閩贛區に於いては、救済失業者運動を舉行し、國家及び資本家より金を支出して失業者を救済した。同時にソヴェート區國民經濟が發展し、生産合作社が建設せられ、労働紹介所が創設せられたので、多數失業者は皆工作を得るに到つた。土地を分配せられた労働者・雇農・苦力に對しては、労働組合及びソヴェートは各方面より彼等を援助し、耕牛・耕具・種子資金の困難を解決してやつて居る。労働者經濟闘争の指導に當り、去年は極左的錯誤を發生した。昨年末には六

個の都市に於いて總罷工を舉行し、無制限に賃銀及び各種の特別要求や強制紹介等を増加した爲、小企業者は負擔の方法がなくなつた。併しこれらの錯誤は、昨年のメーデー労働者代表大會以來、大體に於いて糾正せられた。

次に労働組合組織の發展と、労働者のソヴェート参加及び紅軍建設に關する熱度について言及する。労働者の生活が改善せられたので、労働者の革命積極性は大に發展せられた。労働者は勇躍して自己の屬する階級の労働組合に入した。労働組合員は大に増加した。中央ソヴェート區及び湘贛區・湘鄂贛區・閩贛區の労働組合員統計に依れば、二十二萬九千人に達して居る(江西省の博生・洛口・長勝・太雷及び福建省の汀東・兆繳・澎湃・湘贛區の茶陵と湖北東南等は計算外である)。この外同區附近に一萬餘の組合員がある。若しこれらと四川省ソヴェート區を合算すれば、労働組合員は二十萬人以上に達して居る。

中央ソヴェート區と閩浙贛に於いては、百分の九十の労働者が全部労働組合に加入して居る。中央ソヴェート區十縣の詳細なる統計を根據とすれば、百分の九十五の労働者は労働組合に加入した。興國では、百分の九十八の労働者が労働組合に加入した。

百萬の鐵の紅軍を創造し、無産階級の骨幹たらしむることに對しては、偉大なる成績を獲得した。中央ソヴェート區工會は、工人師を創造した。閩浙贛に於いては二箇の工人聯隊を創造し、湘贛・鄂贛に於いては、數箇の工人大隊を作つた。中央ソヴェート區十二縣の統計に依れば、労働組合員の百分の二十八(一萬九千六十人)が、現在紅軍及び游撃隊中に在つて服務して居る。最近紅軍擴大突撃運動に當り、中華全國總工會執行局は、會員をして百分の二十を新戦士たらしめることを決定したが、現在の豫想では既に實現したものと思はれる。例へば、興國縣の新戦士労働者は百分の四十に達した。西江縣は百分の二十三、長勝縣は百分の四十以上に達して居る。一般的に謂へば、紅軍中勞



働者の成分は、百分の二十に達して居る。然るにこの任務に關する湘鄂贛區の成績は非常に微弱である。同地方では、昨年一箇年中に労働組合から自己の組合員を動員して紅軍に加入した者は一千人に達しない。而して興國縣労働組合員は、百分の三十六(五、一八〇人)が現在紅軍中に服務して居る。某區域では、百分の八十の組合員が紅軍に加入して居り、多數の組合文部全體が紅軍に加入して居る。

労働者を發動してソヴェート建設に参加せしむることに就きても亦、大なる成績を擧げて居る。今回ソヴェート選挙に参加した労働組合員は、百分の八十以上である。多數の都市に於いては、百分の九十の労働者が選挙に参加した。ソヴェート代表は大に増加を見た。例へば、興國全縣の代表は九千〇九人で、労働者は百分の四十二を占めて居る。西江では百分の三十を占めて居る。而して數個の省ソヴェート代表大會に於いて、労働者代表は一般に選挙法に規定せられたる百分比(百分の三十五)を超過して居る。中央ソヴェート區十二縣労働組合の統計に依れば、十分の一の組合員がソヴェート及びその他の機關に於いて工作して居る。彼等の大部分は責任工作を負擔して居る。労働組合は常に自己の優秀なる幹部をソヴェートに派遣して、紅軍及び共産黨内に送り、責任工作を爲さしめて居る。各級ソヴェートの現在の執行委員は、その成分中三分の一乃至二分の一は一般に労働者である。經濟戦線上の動員に就きて、労働組合は又労働者を領導して積極的に参加し、偉大なる成績を獲得して居る。昨年、店員・手藝労働者が始めて第二期公債返還を號召し、政府の元金返還を不要とする運動を起したが、本運動は深く各個の工廠・作坊・店舗・農村に深入したが、その結果、大多數の労働者は全部自己の所持する公債を政府に返還してしました。經濟建設公債の購買に就いても、労働者は大に勇躍して買入れた。就業労働者で勞銀半箇月以下の公債を購買した者は一人もなかつた。或るものは二箇月・三箇月より四箇月の賃銀を以て公債を購買した。鄉村労働者で、十元・二十元より、五十元

六十元位も購入する者が多數あつた。中央ソヴェート區十二縣中、平均一人四元五角を購買した(一九七、八〇三元)。興國縣では、平均一人の會員が五元一角を購買した。

特に指摘したきは、國家工廠労働者の生産熱度が高められたこと、運輸労働者の軍事輸送に對する援助に就いてである。國家工廠の労働者は、労働組合の領導下に自發的に生産力を高める爲に材料を節約し、生産品の質量を改善し労働規律を提高する爲に闘争して居る。生産競争を組織し、生産突撃隊を組織して居る。而して獨り各工場の生産計畫を達成するのみならず、豫定計畫を超過して居る。労働者は自發的に多く工作し、早くより工作し、遅く工作を終り、日曜日も休息しない。同時に新しき技術を發明せむと努めて居る。特に、閩浙區と中央ソヴェート區兵工廠に於いては、大なる成績を擧げて居る。農業生産方面に於いても、手工業生産の復興發展に就いても成績を擧げ、幾百箇の生産組合が建設せられた。

労働者にして共産黨及び共産主義青年團に加入し、家庭にある組合員は中央ソヴェート區に於いては百分の二十八(二二、四三五人)を占めて居る。これは即ち労働者が共産黨を擁護して居ること、及び労働者の水平線が高められたことを説明するものである。然るに、この點に於いて福建の状況は實に不良である。

同志諸君！二箇年來ソヴェート地區労働組合工作が獲得したる成績は偉大である。これは大にソヴェート政權の大衆的基礎を増加し、且つソヴェート紅軍の鞏固化及び發展を援助した。而してこれらの成績は、共産黨の正確なる領導にあつて、右傾的なる労働組合の取消主義に反對し、又左傾的工團主義とギルド主義の闘争を爲して、初めて獲得されたものである。同時に又ソヴェートにして、初めて支那労働者階級を失業・飢餓・奴隸の状況下より根本的に最後的に解放し得るものなることを證明して居る。



併し同志諸君！ソヴェート地區の労働組合工作は、決して錯誤も缺陷もないとは謂ひ得ない。先づ指摘すべきは、斯かる成績が各ソヴェート區に於いて決して平衡して居ないことである。都市と農村労働者の基本要求は未だ完全に實現されて居らぬ。次に、労働組合は未だ労働者大衆の革命積極性を最高限度にまで組織して居ないので、ソヴェートと彼等が、各個の重要工作上に於いて密接に配合せられざることである。

第三は、労働者の日常經濟利益の保護につき労働組合の努力が不足して居る。特に個別的労働者の日常問題の解決に對し、組合機關は常に勝手に對策を講じ、依然として労働者の日常要求を輕視する傾向がある。第四に、鄉村の組合支部は、貧農團に對する領導と援助が一般的に不足して居る。

併し、これらの缺點は、今後の工作中に於いては完全に克服し得べきことを、余は確信する。この外にソヴェート機關責任者の中には、労働組合と労働者大衆の權利を尊重せざる者が、多少あることを我等は大會に向つて報告しなければならぬ。又某地方ソヴェートに於いては、外郷に仕事を捜して出掛けむとする労働者に、路條の發給を許さないものがある。この點に關し、余は大會及び以後の中央執行委員會が、徹底的に解決の方法を執られんことを要求する。

同志諸君！無數の數千萬支那人労働者が、國民黨統治下に於いて奴隸、牛馬飢餓の苦痛を受けつゝある今日、ソヴェート區の労働者は完全なる解放を得て居るのである。ソヴェート政府の労働保護政策は、獨りソヴェート區百分の九十の労働者を労働組合に加入せしめ、労働組合をしてソヴェート政權の最も重要な大衆柱石たらしめ、又労働者大衆の革命積極性を大に發展せしめたるのみならず、且は白色區域の數千萬の飢餓に頻したる労働者大衆を一層革命化せしめ、彼等をしてソヴェートのコースに進ましめ、ソヴェートをして全支那に於ける勝利を得しめむとする形勢である。(拍手)

## 第十日(二月一日)

各地代表の提案上程——大會宣言の發表——中央執行委員會の改選

二月一日の會議に於いては、各地代表の重要提案が上程された。即ち、東北代表は、國民黨の第五次「圍剿」粉碎と共に東北失地回復の爲に武装出兵すべしと説き、紅軍第三軍代表は義務兵役制・義務労働法の實施・紅軍優待條例の確實なる實行・兵站工作の強化等を主張した。又紅軍第九軍團代表は、ソヴェートの經濟建設問題、紅軍の擴大問題ソヴェートの發展問題・紅軍優待問題及び紅軍生活の諸問題を取上げて、提案するところがあつた。

更に、方面軍直屬部隊・彭楊歩兵學校・第一軍團の紅軍戰士から、現實に即した數箇條の提案が爲された。特に江西省の女工・農婦代表會からの提案は、既にその一部分は江西省のソヴェート大會に提出されて解決を見たるものもあつたが、満場の注意を喚起した。

午後の會議に於いて、大會主席團の提案に成る大會宣言が、毛澤東に依つて朗讀され、破れるやうな拍手喝采裡に可決された。

### 第二次全國ソヴェート代表大會宣言

全支那の勞農貧苦大衆よ！

第二次全國ソヴェート代表大會の召集は、支那ソヴェート革命が偉大なる進展を遂げ、絶大なる成功を収めたことを證するもので、反帝國主義・土地革命のソヴェートの旗は、今や千百萬支那勞苦大衆が民族的社會的解決を得んと



する旗幟となつて居る。

第一次大會から現在に到る二年來の鬭争の歴史は、完全にソヴェート政權が既に覆滅し難い大衆の政權となつて居ることを證明して居る。帝國主義國民黨の第四次「圍剿」は、ソヴェート運動の進展を暫時も阻止し得ざるのみならず、その第四次「圍剿」粉碎中に、ソヴェート政權をして新たな發展をなさしめ、又ソヴェート政權をして、支那ソヴェート革命の勝利の奪取の大道に向はしめて居るのである。帝國主義國民黨は、ソヴェート革命の發展を前にして戦慄しつゝあり、ソヴェート政權を消滅する爲、蔣介石を首領とする國民黨は、帝國主義の直接領導下に熱狂的に一切の勢力を動員し、ソヴェート紅軍に向つて、彼等の第五次「圍剿」を進めて居るのである。百萬以上の軍隊の攻撃、飛行機・大砲の砲撃・爆撃・殘酷非人道な屠殺等々に依つて反帝國主義・土地革命を主張しつゝあるソヴェート政權を血潮の海の中に葬らんとして居る。而し帝國主義國民黨の今次の「圍剿」は、ソヴェート區及び全支那大衆のソヴェート政權擁護と、我等紅軍の勇敢なる善戦及びソヴェート中央政府の正確なる指導によつて、第二次全國ソヴェート代表大會開會に於いて、既に屢次の重大なる打撃と失敗を喫したのである。

第二次全國ソヴェート代表大會が開かれた現在、帝國主義の忠實なる走狗國民黨蔣介石が、第五次「圍剿」中に甚大なる打撃と失敗を蒙つた後、新たに彼等の武力を配置し、三方面から我等の中央ソヴェート區に向つて、「圍剿」の大舉進撃を續行せんとしつゝある時である。帝國主義の走狗たる地主資産階級の代表者蔣介石は、兇惡なる獵犬と同様に彼の犠牲となるものを求め、一刻もソヴェート紅軍に對する攻撃を粗略にしない。國民黨政權とソヴェート政權が尖鋭に對立する現情勢下にあつては、和平と共存は絶對不可能である。

第二次全國ソヴェート代表大會は宣言する。全支那勞苦大衆の眼前には、今や絶對に相容れない二つの道が横たわつて居る。一は獨立自由の支那ソヴェートへの道であり、一は帝國主義國民黨の支那植民地化への道である。この兩者以外に、中間の道は絶對に無い。

蔣介石を首領とする國民黨賣國賊の統治下に在つて、日本帝國主義は只に全滿洲と内蒙を併呑したのみならず、更に華北をも占領せんとしつゝある。日本及びその他帝國主義諸列強の進撃下に在つて、支那は將に完全に帝國主義の植民地に變ぜんとして居る。蔣介石を首領とする國民黨吸血蟲の統治下に於いては、國民經濟の全面的崩壊は更に一步を進めて深刻化し、地主資産階級は空前の殘酷なる搾取剝奪をなし、失業・失地・飢餓・疾病は相次いで、全支那の個々の勞苦大衆を脅かして居るのだ。

現在では、凡ての支那大衆は、國民黨が最近南京の四中全會に於いて絶叫した「統一と建設」の眞の意義を悉く諒解して居る。國民黨の所謂「統一」は、事實上支那を日本及び一切の帝國主義に賣渡し、帝國主義の支那分割を援助し、ソヴェートと紅軍に向つて攻撃を加へんとするものであり、國民黨の所謂「建設」とは、支那勞苦大衆に對する搾取を強化し、支那國民經濟をして空前の破滅状態に陥れんとするものである。

國民黨賣國賊は、曾て賣國の罪名をソヴェート政府と紅軍に著せんとしたが、支那ソヴェート中央政府と革命軍事委員會は、曾て二回に互つて、全支那の如何なる武装部隊と雖も、ソヴェート區域と紅軍攻撃を中止し、廣汎大衆に言論・集會・結社・罷業・示威及び武装の自由を與へることを條件として、彼等と作戦上の協定を結び、共同して日本帝國主義を支那から驅逐し、支那の領土の安全を防衛せんことを希望する旨を明にしたが、國民黨のソヴェート政府と紅軍の宣言に對する回答は、更に支那の賣渡しを積極化し、帝國主義から新たな借款と武器を取得して、ソヴェートと紅軍に向つて新たな總攻撃を進めることであつた。



國民黨の統治区域内に於いては、國民黨は大衆の抗日と一切の反帝國主義的革命運動に對して、最も慘酷なる白色テロを加へ、各地にあつた大衆の禦侮自救會・領土保障同盟會、及び凡ゆる抗日組織を解散し、抗日の革命的領袖及び大衆を逮捕・屠殺し、又恥知らずにも、日本帝國主義及び滿洲國軍隊と聯合して、抗日に赴かんとする東北義勇軍を「圍剿」し、支那大衆の義勇軍に對する一切の援助を遮斷して居るのである。これに反して、ソヴェート區域内に在りては、既に如何なる帝國主義勢力の存在もない。ソヴェート政府は全支那大衆の抗日・反帝運動に對して、有力なる實際援助を與へて居る。

國民黨の吸血蟲どもは、支那國民經濟總崩壞の罪を、ソヴェート及び紅軍に歸せんとして居るが、併し事實が證明する通り、ソヴェート政權下の大衆生活は大に改善され、且つ國民黨軍閥のソヴェート區に對する不斷の攻撃と經濟封鎖に拘らず、ソヴェートの經濟建設は、極大の成功を収め、ソヴェート區の工業と農業の生産力は、大々的に高められて居る。ソヴェート政府統治下の大衆は、自己生活の改善のため、異常なる勞働力と生産戦線上の新たな創造を發展せしむるに到つた。

第二次全國ソヴェート代表大會は、只ソヴェート政權のみが、支那を淪亡から救ひ、全支那大衆を根本的に解放し得るものだと宣言する。ソヴェート政權は、革命的手段を以て地主階級の土地を農民に與へ、八時間勞働と生産監督權を勞働者に與へ、民族の解放を被壓迫支那人と支那境域内の弱小民族に與へた。第一次全國ソヴェート代表大會から現在に到る二年來のソヴェート政權の一切の施設は、ソヴェートが反帝國主義・土地革命の唯一の指導者であることを充分に證明し、且つ全支那勞農大衆の眼前に、ソヴェートの道は支那民族と社會的解放の唯一の道であることを示した。

一切の反革命的改良主義的分派は、例へば生産大衆黨・第三黨・社會民衆黨・A B 團乃至陳獨委取消派等は、曾て福建省に於いて、植民地への道とソヴェートへの道の中間に、第三條の道を求めんとした。が併し、斯かる試みは、完全に失敗に歸した。この反革命的革命主義者は、福州人民政府で、革命張りの辭句を以て大衆を欺き、大衆眞個の革命化を阻止し、功妙なる方法を用ひて、帝國主義と支那地主資産階級の支配を維持しようとしたが、而し事實は鐵の如く、總ては改良主義者の幻想に過ぎなかつたことを證明し、彼等の死刑は宣言され、僅か二箇月の福建「人民政府」の存在は、深い嘲笑と諷刺を買つたのみだ。

全支那の勞農貧苦大衆よ！帝國主義國民黨の第五次「圍剿」の新たな決戦は我等の面前にある。これは一つの殘酷なる決闘だ。これは、ソヴェート政權と國民黨政權の生死を決定する闘争だ。全支那大衆の力量を動員組織し、堅強なる鐵の紅軍を創り、徹底的に帝國主義國民黨の第五次「圍剿」を粉碎し、根本的に帝國主義國民黨の支配を覆滅し、獨立自由のソヴェート新支那を建設することは、我が第二次全國ソヴェート代表大會の光榮ある歴史的使命である。

第二次全國ソヴェート代表大會は、全支那の勞農大衆が自ら武装し、抗日の民族革命戦争を展開し、地主・資産階級の國民黨の統治反對の革命兵變を起し、パルチザン戦争と武装暴動をなし、以てソヴェート・紅軍の勝利的進攻に響應せんことを號召する。

第二次全國ソヴェート代表大會は、全ソヴェート區域の勤勞大衆が、我等の勞農紅軍を擴大し、廣汎なるパルチザン戦争を展開し、我等の赤色少年隊と地方武装を健全ならしめ、ソヴェート區の領土を防衛し、ソヴェート區を發展強化する爲に闘争せんことを號召する。我等の凡ゆる工作を以て革命戦争に服し、我等の一切を以て革命戦争に供するならば、我等は必然的に勝利を得るであらう。



第二次全國ソヴェート大會は、反帝國主義・土地革命中から生れた民衆の力量は、ソヴェート政權戰勝の源泉であり、民衆の力量は、帝國主義國民黨の飛行機や大砲並に凡ゆる現代武裝の打ち勝ち得ざる力であることを堅く信ずる。民族革命戰爭を展開し、日本及び一切帝國主義の支那分割に反對せよ！

支那を賣渡し、支那國民經濟の空前の恐慌を惹起せしめたる國民黨を打倒せよ！

帝國主義國民黨の第五次「圍剿」を徹底的に粉碎せよ！

百萬の鐵の紅軍を創り、帝國主義國民黨を打倒せよ！

反帝國主義・土地革命萬歲！

ソヴェート新支那萬歲！

第二次全國ソヴェート代表大會萬歲！

一九三四年一月

大會宣言の發表に次いで、中央執行委員會の改選が行はれ、第一次大會同様、毛澤東が中央政府主席に、項英・張國燾が副主席に選舉され、茲に歴史的な第二次全國ソヴェート代表大會の幕が閉ぢられた。

第二次全國ソヴェート代表大會に於いて選舉せられたる中央執行委員會の主席團・委員並に人民委員會の顔觸れは以下の如くで、人民委員會主席(總理大臣)には張聞天(前中國共產黨宣傳部長)が推舉された。

中華ソヴェート共和國

中央執行委員會

主席 毛澤東

副主席 項英 張國燾 張國燾 博古 周恩來 瞿秋白  
主席團 毛澤東 項英 張國燾

委員 鄧發 方志敏 羅邁 周月林 (定員二五名以下)  
陳紹禹 何克全 吳亮平 金維映 黃發桂  
謝玉欽 李富春 謝名仁 蕭世榜 林國宋  
黃長嬌 蔡暢 鐘葆兀 姜夢俠 徐達志  
會山 鐘昌桃 劉啓耀 鐘循仁 李卓然  
劉廣臣 謝先賢 張績之 王稼蓆 劉伯承  
賀昌 何長工 董振望 黃甦 聶洪鈞  
萬永誠 尋准州 滕代遠 彭德懷 楊尙坤  
林彪 聶榮臻 劉伯堅 蔡樹藩 王如痴  
陳光 羅瑞卿 周建屏 周昆 樂少華  
陳毅 陳洪時 孔荷寵 劉時西 陳昌浩  
賀龍 陳阿全 袁國平 葉劍英 畢士梯  
蕭克 朱瑞 徐彥剛 徐向前 張琴秋



何叔衡	余漢朝	余洪遠	譚余保	熊國炳	何振吾	吳必先	張雲仙	曾洪易	鐘桂新	黃道	傅才秀	郭述申	張冠一	王鳳鳴	王世泰	關向應
梁柏臺	汪金祥	何畏	劉士杰	李維海	陳壽昌	陳潭秋	張大和	巫了元	陳祥生	孔書安	劉明輝	張德二	鄭振芬	羅炳輝	姜阿三	夏曦
阮嘯仙	徐振農	曾廣瀾	鄺彪	李先念	王震	黃加高	黃宜章	吳蘭甫	劉群仙	鐘世斌	劉國珠	祝維垣	高俊亭	蔡乾	古大存	宋白民
董必武	吳玉章	李成甲	任弼時	周光坤	彭仁昌	張金樓	張鼎丞	邱先英	胡海	周義開	顧作霖	朱兆祥	鄭位三	余洪文	朱琪	王維周
黃萬生	楊其鑫	陳子謙	王秀章	黃光保	吳德峯	周少文	李見珍	潘漢年	范樂春	熊仙璧	邵式平	劉曉	成仿吾	潘士忠	魯以錦	張然和

人民委員會

勞農檢察委員會	革命軍事委員會	司法委員會	內務委員會	教育委員會	糧食委員會	國民經濟委員會	財政委員會	軍事委員會	土地委員會	勞働委員會	外交委員會	人民委員會
主席 項	副主席 周恩	主席 朱	委員 梁	委員 曾	委員 瞿	委員 陳	委員 吳	委員 林	委員 朱	委員 高	委員 鄧	主席 張
英	來	德	臺	爲(曾山)	白	秋	平	渠(林祖涵)	德	立	詢	蓄
	王											天
	稼											聞
	蓄											稼
												天

關英 趙雲 關春香 高自立 徐特立 鄧穎超  
 張純清 王盛榮 羅梓銘 楊世珠 賴美玉



國家政治保衛局局長 李克能  
最高法院院長 阮董必武  
審計委員會主任 阮嘯仙

昭和十年四月十日印刷  
昭和十年四月十五日發行

南滿洲鐵道株式會社經濟調查會

編輯兼發行人 內海治一

印刷人 吾妻力松

大連市東公園町三十一番地

印刷所 滿洲日報社印刷所

發行所 南滿洲鐵道株式會社



三コ42

大正十一年四月十五日  
 大正十一年四月二十日  
 大正十一年四月二十五日  
 大正十一年五月一日  
 大正十一年五月五日  
 大正十一年五月十日  
 大正十一年五月十五日  
 大正十一年五月二十日  
 大正十一年五月二十五日  
 大正十一年六月一日  
 大正十一年六月五日  
 大正十一年六月十日  
 大正十一年六月十五日  
 大正十一年六月二十日  
 大正十一年六月二十五日  
 大正十一年七月一日  
 大正十一年七月五日  
 大正十一年七月十日  
 大正十一年七月十五日  
 大正十一年七月二十日  
 大正十一年七月二十五日  
 大正十一年八月一日  
 大正十一年八月五日  
 大正十一年八月十日  
 大正十一年八月十五日  
 大正十一年八月二十日  
 大正十一年八月二十五日  
 大正十一年九月一日  
 大正十一年九月五日  
 大正十一年九月十日  
 大正十一年九月十五日  
 大正十一年九月二十日  
 大正十一年九月二十五日  
 大正十一年十月一日  
 大正十一年十月五日  
 大正十一年十月十日  
 大正十一年十月十五日  
 大正十一年十月二十日  
 大正十一年十月二十五日  
 大正十一年十一月一日  
 大正十一年十一月五日  
 大正十一年十一月十日  
 大正十一年十一月十五日  
 大正十一年十一月二十日  
 大正十一年十一月二十五日  
 大正十一年十二月一日  
 大正十一年十二月五日  
 大正十一年十二月十日  
 大正十一年十二月十五日  
 大正十一年十二月二十日  
 大正十一年十二月二十五日



V282

